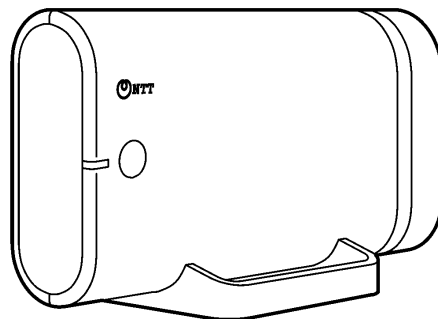




緊急地震速報受信端末 DW-100 取扱説明書

このたびは、DW-100をご利用いただきまして、
まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この『取扱説明書』を
よくお読みのうえ、内容を理解してから
お使いください。
- お読みになったあとも、本装置のそばなど
いつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

廃棄方法について

本装置を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。
詳しくは、各地方自治体へお問い合わせください。

情報処理装置等電波障害自主規制について

本装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本書に従って正しい取り扱いをしてください。

リバースエンジニアリングに関する禁止事項

本装置のソフトウェアに対して、逆アセンブル、逆コンパイルなどのリバースエンジニアリングは禁止されています。

輸出に関する注意事項

本装置は外国為替および外国貿易管理法の規定により、戦略物資等に該当する場合に日本国外に輸出する際には日本国政府の許可が必要です。
本装置（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規制等には準拠しておりません。
本装置を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本装置に関し、海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

商標

- ・Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows Vista の正式名称は、以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows Vista® Home Basic
 - Microsoft® Windows Vista® Home Premium
 - Microsoft® Windows Vista® Business
 - Microsoft® Windows Vista® UltimateWindows XP の正式名称は、以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system
 - Microsoft® Windows® XP Professional Edition operating system
- ・Internet Explorer は、Microsoft®Internet Explorer の略です。
- ・Mac、Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Computer,Inc.の商標です。
- ・Safariは、Apple Computer,Inc.の商標です。
- ・本書中に記載されている会社名、装置・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
- ・®マークや™表記については本文中に明記いたしません。



ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断転載、複製、およびいかなる方法による複製も禁止します。
2. 本書の内容に関し、予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がございましたら、当社サービス取扱所までご連絡ください。
4. 本装置を運用した結果、お客様の期待された効果が得られなかった場合でも当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 許可なく改造、変更を行った場合、動作の保証は致しかねます。
6. 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用はしないようにしてください。
これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用された場合のいかなる損害に対しても、当社では責任を負いかねます。
設備や機器、制御システムなどでは、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
7. 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
8. 本書について当社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
9. 万一、本書に乱丁、落丁がありましたらお取り替え致します。

安全にご使用いただくために必ずお読みください

本装置を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を示しています。

使用している表示と図記号の意味は、次のとおりです。内容をよく理解してから説明書本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。


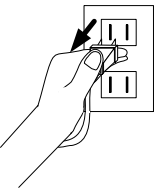

	誤った取扱いをすると、発火の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取扱いをすると、感電の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取扱いをすると、けがを負う可能性が想定されることを示しています。
	安全のため、水場での機器の使用を禁止することを示しています。
	安全のため、機器の分解を禁止することを示しています。
	安全のため、電源アダプタのプラグを必ずACコンセントから抜くように指示するものです。

<電源に関するご注意>








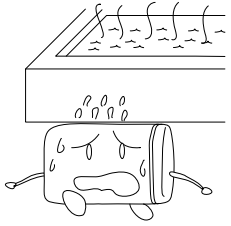
 警告	
 	<p>本装置は、AC100Vの家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。 火災、感電の原因となります。</p>
 	<p>電源アダプタのプラグにほこりが付着していないことを確認してからACコンセントに差し込んでください。 また、半年から一年に一回は、電源アダプタを点検してください。点検に関しては当社サービス取扱所にご相談ください。 ほこりにより、火災、感電の原因となることがあります。</p>
 	<p>電源アダプタのプラグは、ACコンセントに確実に差し込んでください。 電源アダプタのプラグの金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。</p>
 	<p>電源アダプタのプラグの接続は、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線にしないでください。 ACコンセントが過熱し、火災、感電の原因となります。</p> 
 	<p>電源アダプタや電源ケーブルを加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。 電源アダプタや電源ケーブルの破損による火災、感電の原因となります。</p>




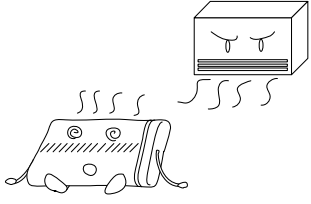


	<p>電源アダプタや電源ケーブルの上にものを載せないでください。</p> <p>電源アダプタや電源ケーブルの破損による火災、感電の原因となります。</p>	
	<p>添付の電源アダプタ以外は使用しないでください。</p> <p>添付の電源アダプタ以外を使用すると、火災、感電、装置故障の原因となります。</p>	
	<p>濡れた手で電源アダプタのプラグをACコンセントに抜き差ししないでください。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>	
	<p>電源アダプタをACコンセントに接続してあるときは、濡れた手で本体に触れないでください。</p> <p>感電の原因となります。</p>	

⚠ 注意

	<p>電源アダプタをACコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。</p> <p>電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。</p>	
	<p>本装置をご使用にならないときは、安全のため、電源アダプタをACコンセントから抜いてください。</p>	

<保管および使用環境に関するご注意>

 警告	
 	<p>本装置の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など、液体の入った容器を置かないでください。</p> <p>液体が本装置にこぼれたり、本装置の中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。</p> 
  	<p>本装置を風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い所では使用しないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因となります。</p> 

 注意	
 	<p>本装置や電源アダプタ、電源ケーブルを火気やストーブなどの熱器具に近づけないでください。</p> <p>電源ケーブルの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。</p> 
 	<p>本装置を油飛びや湯気があたるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因となることがあります。</p>

	<p>本装置を直射日光の当たる所や温度の高い所に置かないでください。</p> <p>本装置内部の温度が上がり、火災、故障の原因となることがあります。</p> 
	<p>本装置の通風孔をふさがないでください。</p> <p>通風孔をふさぐと内部の温度が上がり、火災、故障の原因となります。また、次のような使い方はしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本装置をおおむけや横倒し、逆さまに設置する ・収納棚や本棚など、風通しの悪い狭い場所に押し込む ・じゅうたんや布団の上に置く、またはテーブルクロスを掛ける
	<p>本装置を不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。</p> <p>落下により、けが、故障の原因となることがあります。</p> 
	<p>本装置を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。</p> <p>落下により、けが、故障の原因となることがあります。</p>
<p>本装置をラジオやテレビなどのすぐそばで使用すると、ラジオやテレビなどに雑音が入ることがあります。また、強い磁界を発生する装置が近くにあると、逆に本装置に雑音が入ることがあります。このような場合は離して使用してください。</p>	

< 禁止事項 >

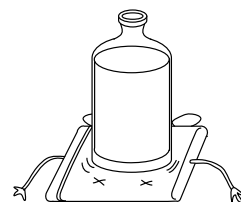
 警告	
  	<p>本装置内部の点検、調整、清掃、修理は、危険ですから絶対にしないでください。</p> <p>本装置の内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。本装置内部の点検、調整、清掃、修理は、当社サービス取扱所に依頼してください。</p>
  	<p>本装置内部の分解、改造は絶対にしないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因となります。</p> 
 	<p>本装置に水などの液体が入ったり、本装置を濡らしたりしないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因となります。</p> 
 	<p>本装置の通風孔など開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を入れないでください。</p> <p>万一、異物が入った場合はまず本体の電源を切り、差込みプラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p>

注意





本装置の上にものを載せたり、本装置に乗ったりしないでください。



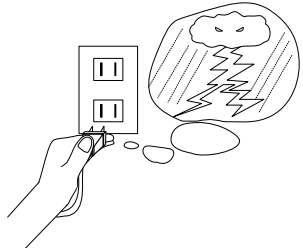

特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。破損等により、けがの原因となることがあります。





＜異常時およびトラブルに関するご注意＞

 警告	
  	<p>万一、本装置を落としたり、破損したりした場合、電源アダプタのプラグをACコンセントから抜いて、当社サービス取扱所にご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。</p>
  	<p>万一、本装置の内部に水などの液体が入った場合、電源アダプタのプラグをACコンセントから抜いて、当社サービス取扱所にご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。</p>
  	<p>万一、異物が本装置の内部に入った場合、電源アダプタのプラグをACコンセントから抜いて、当社サービス取扱所にご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。</p>
  	<p>電源アダプタや電源ケーブルが傷んだときは、そのまま使用せず、すぐに電源アダプタのプラグをACコンセントから抜いて、当社サービス取扱所に修理を依頼してください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>

	<p>万一、本装置から煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、すぐに電源アダプタのプラグをACコンセントから抜き、煙が出なくなることを確認して、当社サービス取扱所に修理をご依頼ください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>本装置から異常音がしたり、電源アダプタが熱くなっているときは、すぐに電源アダプタのプラグをACコンセントから抜き、当社サービス取扱所に修理をご依頼ください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>

<p> 注意</p>	
	<p>落雷の恐れのあるときは、必ず電源アダプタのプラグをACコンセントから抜いてご使用をお控えください。</p> <p>落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。</p> 
	<p>雷が鳴っているときは、電源アダプタに触れたり、機器の接続をしたりしないでください。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>

<お手入れに関するご注意>

 注意	
	本装置のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタのプラグをACコンセントから抜いてください。
ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いて拭いたりしますと、変形や変色の原因となることがあります。また、殺虫剤などをかけた場合も変形や変色の原因になることがありますので注意してください。	

ご利用前の注意事項

1. 本装置をご利用いただくためには、以下のアクセス回線およびネットワークサービスへの契約が必要です。

(1) 地域 IP 網（フレッツ網）へのアクセス回線（各エリアのいずれか一つ）

東日本電信電話株式会社

- ・フレッツ 光ネクスト
- ・B フレッツ

・フレッツ・ADSL（別途フレッツ・ドットネット契約が必要です）

西日本電信電話株式会社

- ・フレッツ 光ネクスト
- ・フレッツ・光プレミアム

・B フレッツ（別途フレッツ・v6 アプリ契約が必要です）

・フレッツ・ADSL（別途フレッツ・v6 アプリ契約が必要です）

(2) 適用サービス

NTT コミュニケーションズ

緊急地震速報 フレッツタイプ

(3) インターネットサービスプロバイダ (ISP)

ファームウェアアップデートを自動で行う場合には必要となります。

2. 緊急地震速報について

- ・本サービスの品質、正確性（地震発生時に必ず情報が伝達されること、情報の伝達が地震の到達の前に必ず間に合うこと、誤報、誤差が生じないことを含むがこれらに限らない）について一切保証いたしません。
- ・ご利用になる通信回線の品質によって情報の伝達に遅延が発生する場合があります。
- ・緊急地震速報は以下のような技術・原理的限界により有効ではない場合があります。

(1) 直下型地震の場合など、速報が主要動の到達に間に合わない、もしくは猶予時間が極端に短い場合

(2) 震度、到達猶予時間などの予測に誤差が生じた場合

(3) 地震以外の要因（事故、落雷など）による誤報が生じた場合

詳細に関しては、気象庁のホームページをご確認ください。

<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html>

目次

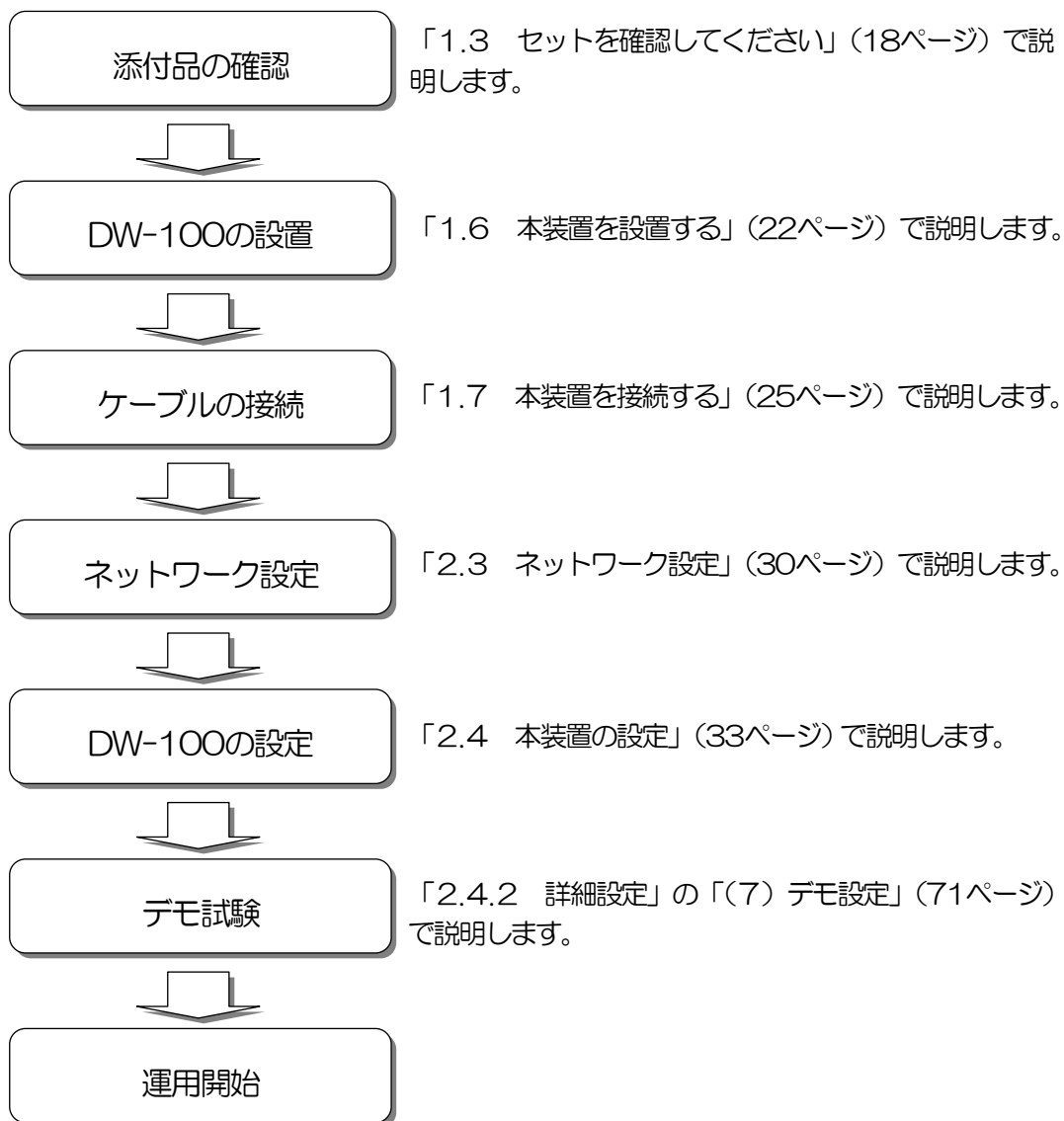
ご注意.....	1
目次.....	13
取扱説明書の読み進めかた.....	14
第1章 お使いになる前に.....	16
1.1 本装置でできること.....	16
1.2 特長.....	17
1.3 セットを確認してください.....	18
1.4 各部の名前.....	19
1.5 停止/試験スイッチの動作.....	21
1.6 本装置を設置する.....	22
1.6.1 設置環境.....	22
1.6.2 設置場所.....	22
1.6.3 設置方法.....	23
1.7 本装置を接続する.....	25
1.7.1 フレッツ 光ネクストをご利用の方.....	27
1.7.2 Bフレッツをご利用の方.....	27
1.7.3 フレッツ・光プレミアムをご利用の方.....	28
1.7.4 フレッツ・ADSLをご利用の方.....	28
第2章 本装置の設定.....	29
2.1 操作の流れ.....	29
2.2 パソコンの準備.....	29
2.3 ネットワーク設定.....	30
2.3.1 Windowsをご利用の方.....	30
2.3.2 Macintoshをご利用の方.....	32
2.4 本装置の設定.....	33
2.4.1 かんたん設定.....	33
2.4.2 詳細設定.....	44
第3章 お買い求めの状態に戻すには.....	73
第4章 おやっ?と思ったら.....	74
第5章 ユーザ設定記入シート.....	78
第6章 索引.....	79
第7章 仕様.....	80
第8章 保守サービスのご案内.....	82

取扱説明書の読み進めかた

この取扱説明書は、緊急地震速報受信端末（DW-100）の概要、機能および取扱方法について説明します。ご使用になる前によくお読みください。本説明書は、以下の章で構成されています。

- ・第1章「お使いになる前に」では、本装置の特長や構成部品、各操作部・表示部について説明します。
- ・第2章「本装置の設定」では、パソコンや本装置の設定などについて説明します。
- ・第3章「お買い求めの状態に戻すには」では、本装置を工場出荷状態に戻す（初期化）方法について説明します。
- ・第4章「おやっ？と思ったら」では、本装置にトラブルが発生したときの対処方法について説明します。
- ・第5章「ユーザ設定記入シート」には、本装置の設定内容を変更したときやパソコンの設定などを控えるメモとしてご使用ください。
- ・第6章「索引」には、索引があります。見たい内容から目的のページを探すことができますので、便利です。
- ・第7章「仕様」では、本装置の仕様について説明します。
- ・第8章「保守サービスのご案内」では、本装置が故障した場合の連絡先や保証、保守サービスについて説明します。

本装置を使用するまでの手順は以下のようになります。順を追って説明します。



第1章 お使いになる前に

本章では緊急地震速報や本装置の概要、構成、操作部や表示部の説明、設置方法などについて説明します。

1.1 本装置でできること

緊急地震速報は地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データを解析して震源や地震の規模（マグニチュード）を直ちに推定し、これに基づいて各地での主要動の到達時刻や震度を推定し、可能な限り素早く知らせる情報です。（気象庁ホームページより引用）

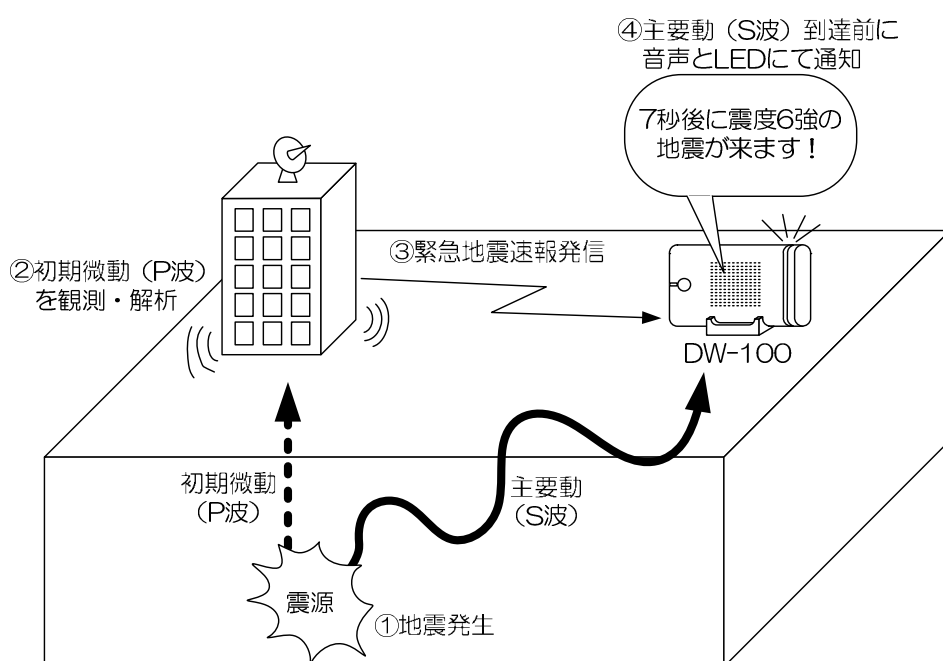


図 1 地震発生から本装置での地震速報通知までの流れ

地震には初期微動（P波）と主要動（S波）があります。地震が発生すると、主要動よりも初期微動が先に伝わりますので、このP波を観測点で感知すると、気象庁（気象業務支援センター）の配信サーバへ送信されます。

気象庁の配信サーバは地震観測所から送られてきた情報を緊急地震速報として、NTT コミュニケーションズの二次配信サーバへ送信します。NTT コミュニケーションズは即時マルチキャスト情報配信システムを用いて、NTT 東日本/NTT 西日本の各フレッツ網/NGN（次世代ネットワーク）を通して、IPv6 マルチキャストでこの情報を一斉配信します。

本装置は NTT コミュニケーションズの二次配信サーバから IPv6 マルチキャストで配信される緊急地震速報を受信し、内容に応じて処理を行い、スピーカや LED により予報表示等を行います。

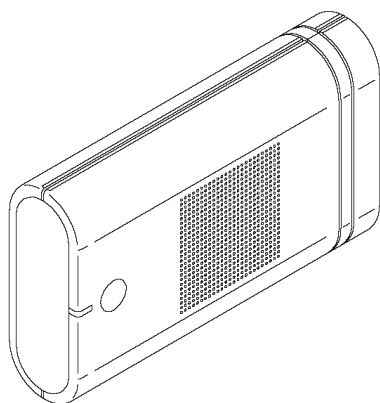
1.2 特長

- ・地震速報を受信し、地震の発生やその内容（規模や到達時間等）を音声やLEDで通知します。
- ・接点出力を装備しており、回転灯やフラッシュライトなど様々な外部機器を接続することができます。
- ・ファームウェアアップデートや時刻設定を自動で行うことが可能ですので、定期的な操作が不要です。（ファームウェアアップデートを自動で行う場合にはISPへの加入が必要となります。）
- ・初期セットアップの簡略化により、3つの手順による設定だけですぐに本装置を使用することができます。
- ・自己診断機能によるセルフテストを実行し、異常時には音とLEDで状態を知ることができます。
- ・システムエラー発生時はスイッチ操作により、アラーム内容を通知します。
（アラームコードを音声で読み上げます）

1.3 セットを確認してください

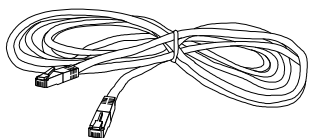
本装置の構成を以下に示します。品物が揃っているか、破損していないかを確認してください。万一、品物が不足している場合や破損している場合は、当社サービス取扱所に御連絡ください。

●本体

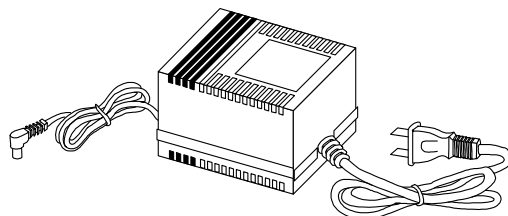


緊急地震速報受信端末 1台

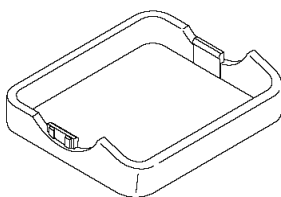
●添付品



LANケーブル (3m) 1本



電源アダプタ 1個



設置スタンド 1個



取扱説明書 (本書) 1冊

木ネジ	2本
保証書	1枚
MAC アドレスシール	2枚
商品アンケートはがき	1枚
NTT 通信機器お取扱相談センタシール	1枚

1.4 各部の名前

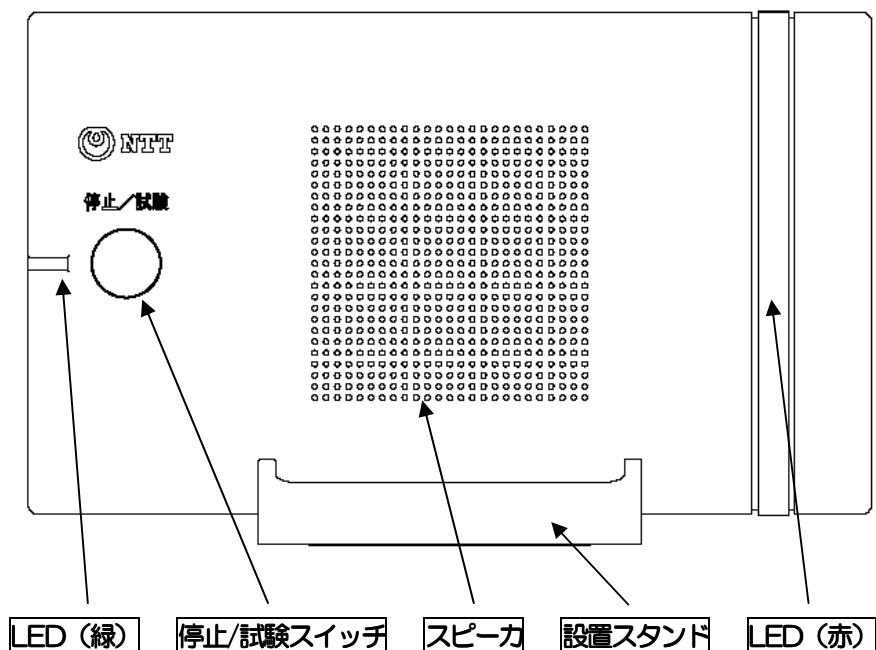


図 2 前面図

■DW-100本体前面各部の名称、および働きを説明します。

名称	色	表示	状態/機能説明
LED (緑)	緑	点灯	電源が投入されています。
		点滅	装置が起動中です 更新されたファームウェアがあります。 初期化中です (LED (赤) と同時に点滅します)。
		消灯	電源が切れています。
LED (赤) ※1	赤	点灯	予報動作ができない状態です (システムエラーが発生しています)。
		速い点滅	地震速報 (試験報含む) および訓練報を受信しました。 デモ試験中です。 初期化中です (LED (緑) と同時に点滅します)。
		遅い点滅	かんたん設定が完了していません。
		消灯	通常動作中です。
停止/試験 スイッチ	—	—	ブザー音の停止、デモ試験の実行/停止、アラームコードの読み上げなどをします。 ※2
スピーカ	—	—	地震速報を受信したときや本装置のシステムエラーの内容を音声でお知らせします。
設置スタンド	—	—	卓上設置するときに使用します。

※1 : LED (赤) の速い点滅は 1 秒周期、遅い点滅は 3 秒周期を示します。

※2 : 停止/試験スイッチの動作については、「1.5 停止/試験スイッチの動作」(21ページ)を参照してください。

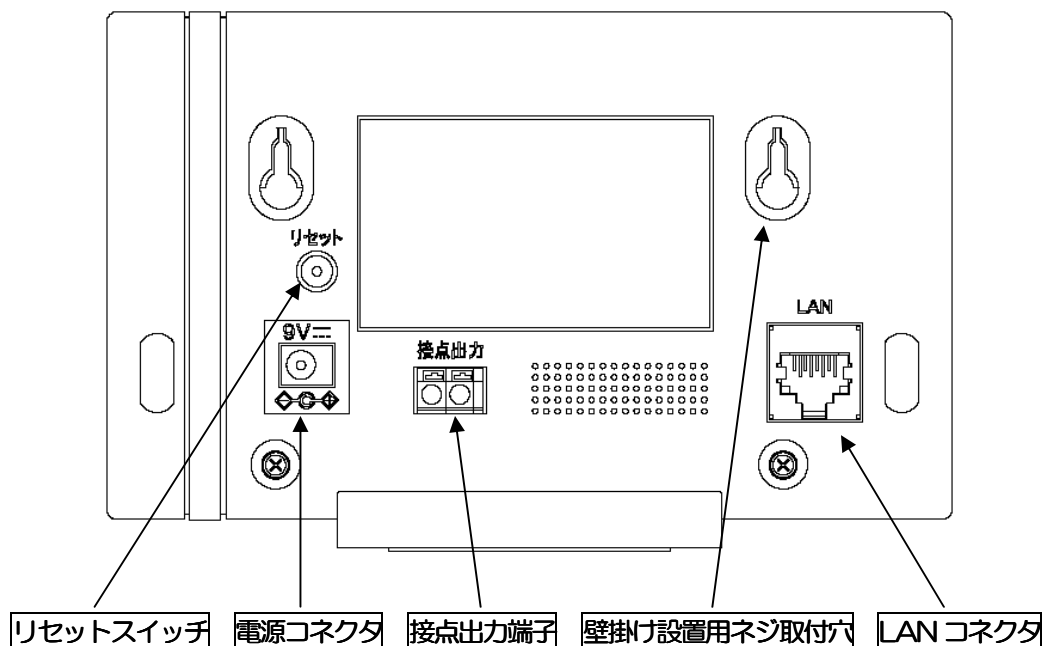


図 3 背面図

■DW-100本体背面各部の名称、および働きを説明します。

名称	表示	機能説明	備考
LANコネクタ	LAN	ルータやHGW、回線終端装置等の機器と接続します。	8ピンモジュラージャック (RJ-45)
壁掛け設置用ネジ取付穴	—	本装置を壁掛け設置する場合に使用します。※1	
接点出力端子	接点出力	回転灯やフラッシュライトなどの外部機器を接続するための端子です。※2	
リセットスイッチ	リセット	1秒以上押すと本装置の全設定を出荷設定に戻します。	初期化中は電源アダプタのプラグを抜かないでください。
電源コネクタ	9V	添付の電源アダプタを接続します。	添付の電源アダプタ以外は接続しないでください。

※1：本装置を壁掛け設置でご使用になる場合は、特殊な工事が必要となります。

※2：外部機器を接続する場合は、当社サービス取扱所へ工事をご依頼ください。

1.5 停止／試験スイッチの動作

本装置前面の停止／試験スイッチは、以下の機能を有しています。

(1) 地震速報受信時のブザー音停止

スイッチ操作	動作
1 秒以上の長押し	地震速報を受信して、ブザー音が鳴動しているときに 1 秒以上スイッチを押すと、ブザー音が止まり、LED（赤）が消灯します。

(2) システムエラーのブザー音停止

スイッチ操作	動作
1 秒以上の長押し	システムエラーが発生して、ブザー音が鳴動しているときに 1 秒以上スイッチを押すと、ブザー音が止まります。

(3) デモ試験の実行／停止

スイッチ操作	動作
3～10 秒の長押し 【デモ試験実行】	スイッチを押し続けて、“プププッ”（約 3 秒後）と鳴ったら指を離してください。デモ試験が始まります。
1 秒以上の長押し 【デモ試験停止】	デモ試験中に 1 秒以上スイッチを押すと、デモ試験を停止します。

かんたん設定が完了していないと、デモ試験をおこなうことはできません。デモ試験の詳細については、「デモ試験方法」（72ページ）を参照してください。

(4) アラームコードの読み上げ／読み上げ停止

スイッチ操作	動作
10 秒以上の長押し 【読み上げ】	スイッチを押し続けて、“プププッ”（約 10 秒後）が鳴ったら指を離してください。アラームコードを読み上げます。 （約 3 秒後に“プププッ”と鳴ることもありますが、約 10 秒間押し続けてください）
1 秒以上の長押し 【読み上げ停止】	アラームコード読み上げ中に 1 秒以上スイッチを押すと、アラームコード読み上げを停止します。

読み上げたアラームコード番号からシステムエラーを特定することができます。詳しくは、「アラームコード一覧表」（76ページ）を参照してください。

注 1：システムエラーのブザー音鳴動中、アラームコード読み上げ中およびデモ試験中に地震速報を受信したときは、予報動作が優先されますので、地震速報を通知します。ただし、システムエラー中で本装置が正常に動作しない場合、地震速報は通知されません。

注 2：各動作の停止操作をしたあと、本装置は地震速報待ち受け状態に戻ります。

注 3：システムエラーとは、本装置に何らかのエラーが発生している状態です。エラーの内容によっては、地震速報の受信および通報動作を行うことができない場合があります。

1.6 本装置を設置する

ここでは、本装置の設置環境・場所や設置方法などについて説明します。


1.6.1 設置環境

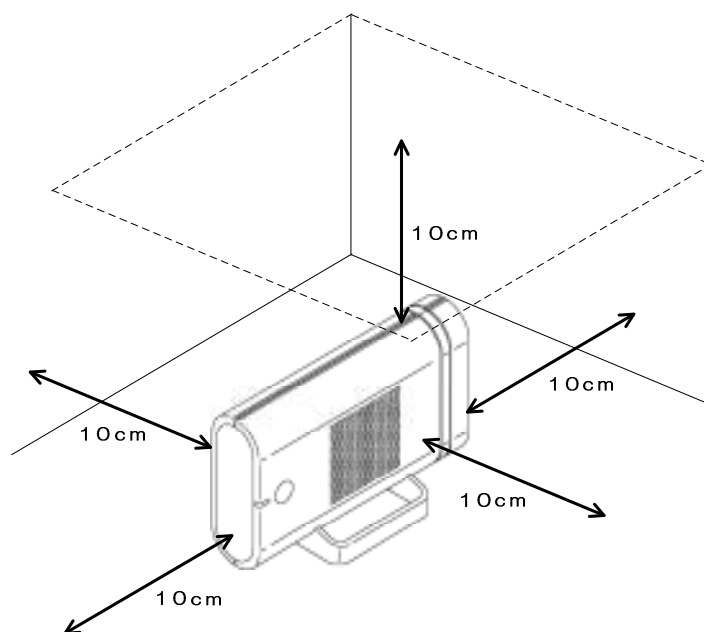
温度：0～40℃

湿度：20～85%（非結露）

1.6.2 設置場所

設置は本装置の動作に影響をおよぼす恐れがある場所を避けて、適切な場所を選んでください。

⚠ 注意	
	<p>本装置は以下の場所に設置しないでください。本来の性能を発揮できなかったり、機能が停止する恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">・水や薬品等液体のかかる所・ほこりや塵の入る所・温度・湿度環境が不適切な所・通気性の悪い所・無線機やテレビなど電磁波や磁気の影響を受ける所・不安定な所・本装置の周囲に 10cm 以上の空間がない所（下図参照）



1.6.3 設置方法

本装置の設置方法には、卓上設置と壁掛け設置があります。卓上設置で使用される場合は
〈設置スタンドの取付け手順〉を参考にして、設置スタンドを取り付けてください。

■ 卓上設置

卓上設置は、本体に設置スタンドを取付けた状態でテーブル等の安定した場所に設置する方法
です。図 4に卓上設置時の外観を示します。

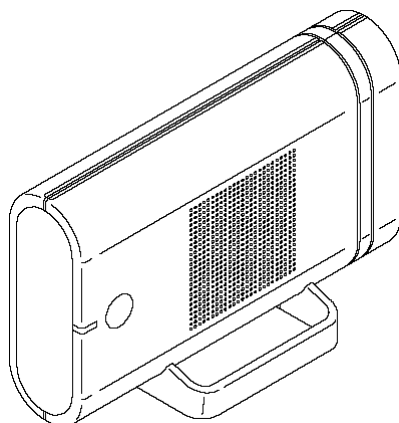


図 4 卓上設置

〈設置スタンドの取付け手順〉

設置スタンド底面に「←マエ」と表示された矢印を本体の前面側にして、設置スタンドの突起
部と本体の設置スタンド取付穴が合うように設置スタンドを取り付けます。

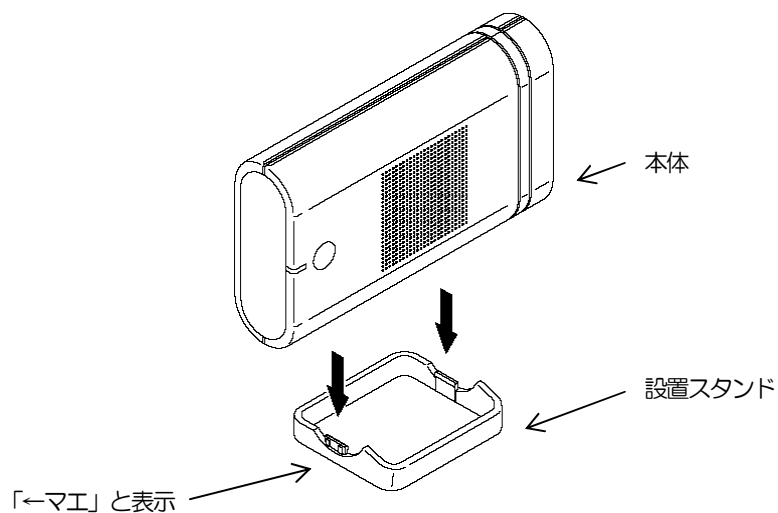


図 5 設置スタンドの取付け

＜設置スタンドの取外し手順＞

設置スタンドを固定して、本体を上方向に持ち上げて設置スタンドを取外します。

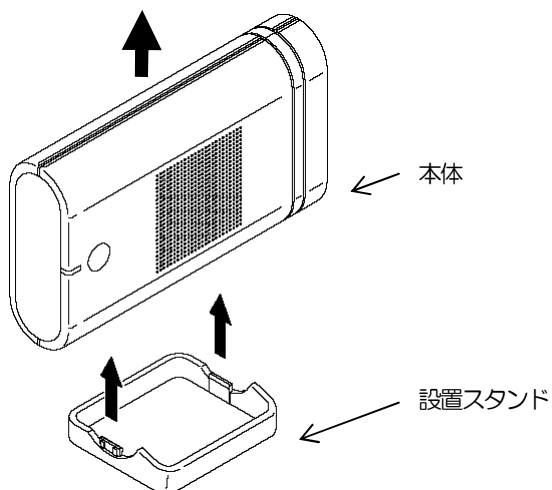


図 6 設置スタンドの取外し

■ 壁掛け設置

壁掛け設置は、本装置を壁に取り付ける方法です。壁掛け設置のイメージを図 7 に示します。
なお、本装置の壁掛け設置には特殊な工事が必要となります。

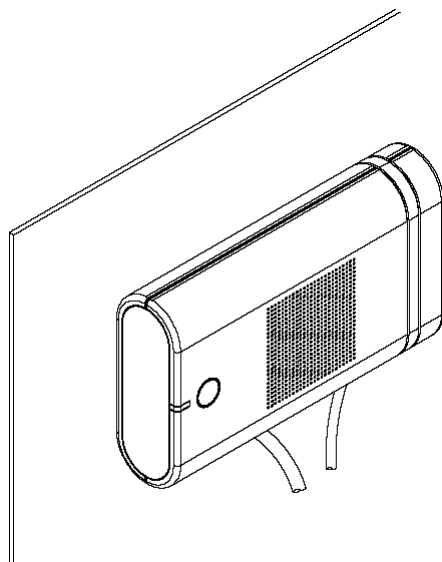


図 7 壁掛け設置

1.7 本装置を接続する

ここでは、本装置の添付品や外部機器との接続について説明します。

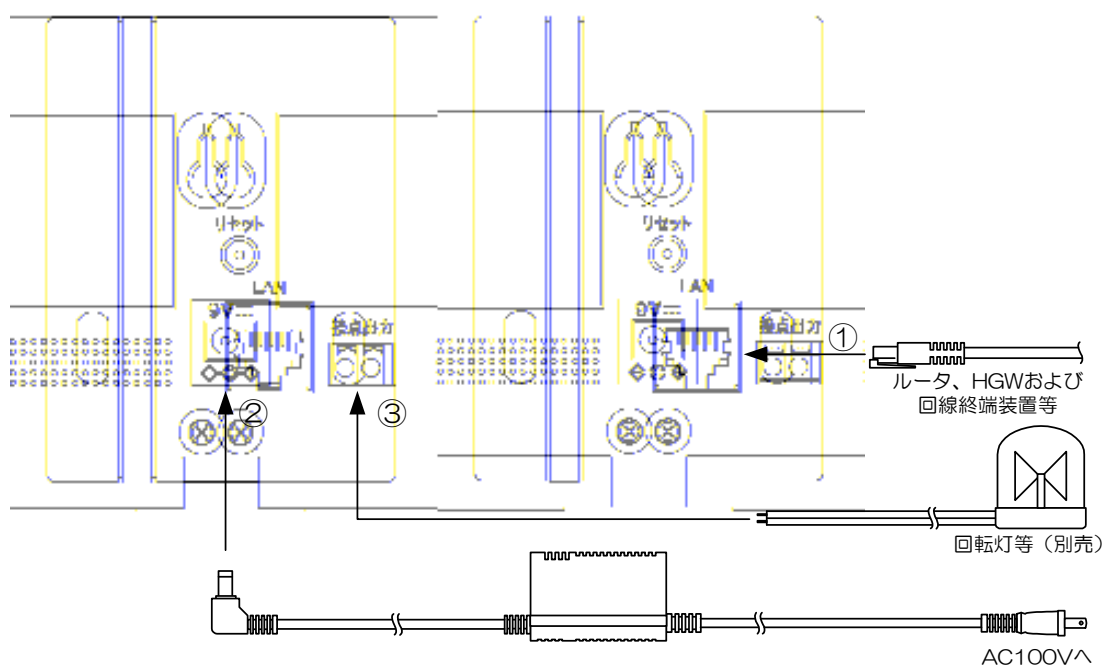


図 8 ケーブル接続イメージ

■ 使用ケーブル

接続に使用するケーブルは下記のとおりです。

- ①LAN : LANケーブル (3m) (添付品)
- ②9V : 電源アダプタ (添付品)
- ③接点出力 : ※1

※1 : 接点出力へ外部機器を接続する場合は、当社サービス取扱所へ工事をご依頼ください。

本装置への給電は本体電源コネクタに添付の電源アダプタを接続して、電源アダプタのプラグをAC100Vコンセントに接続します。プラグを容易に取り外しできるようにしてください。また、本装置はAC100Vコンセントの近くに置いてください。

注意



本装置への電源供給は、必ず添付の電源アダプタを使用してください。故障の原因となりますので、添付の電源アダプタは本装置以外には使用しないでください。

また、電源アダプタのプラグをAC100Vコンセントに長い間差し込んだままにしておくと、電源アダプタのプラグやAC100Vコンセントの絶縁物の表面にほこりや水分が付着して導電路が形成され、絶縁物が劣化して火災に至る原因となることがあります（トラッキング現象）。

AC100Vコンセントの周りにほこりをためないように清掃し、電源アダプタのプラグがしっかりと差し込まれているかときどき確かめてください。

本装置の接続方法をアクセス回線の環境ごとに示します。

1.7.1 フレッツ 光ネクストをご利用の方

フレッツ 光ネクストをご利用の方は、HGW（ホームゲートウェイ）の空いているLANポートへ本装置を接続します。

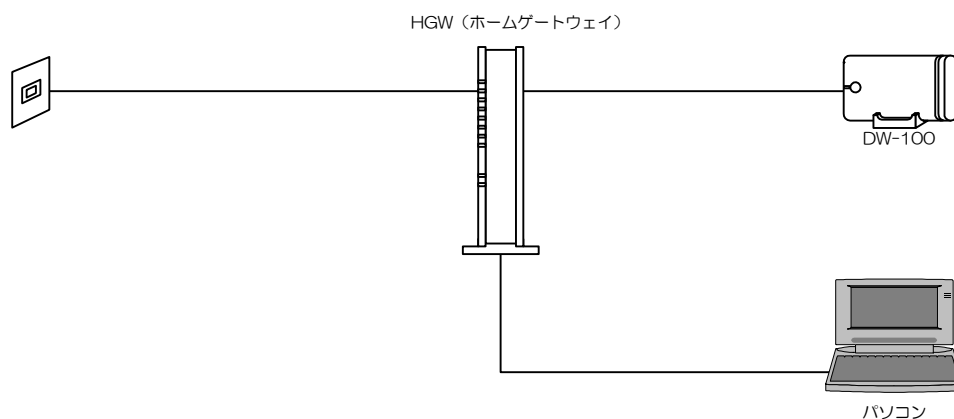


図 9 フレッツ 光ネクストをご利用の方の接続例

1.7.2 Bフレッツをご利用の方

Bフレッツをご利用の方は、ブロードバンドルータの空きLANポートへ本装置を接続します。回線終端装置またはVDSLモデムとブロードバンドルータが一体となったホームゲートウェイをご利用の方は、HGW（ホームゲートウェイ）の空いているLANポートへ本装置を接続します。

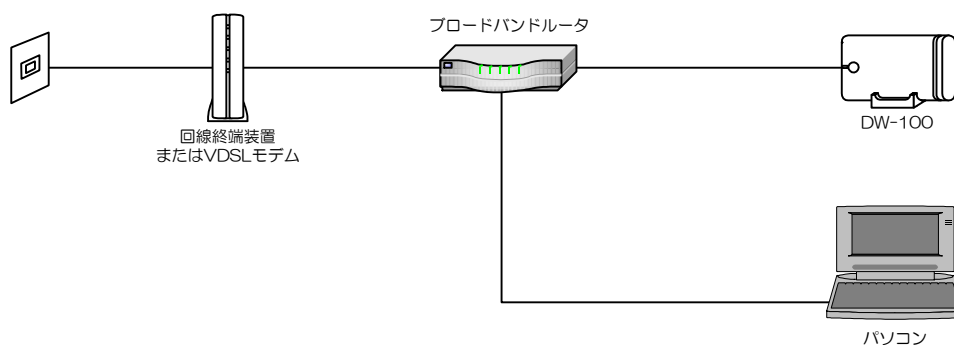


図 10 Bフレッツをご利用の方の接続例

1.7.3 フレッツ・光プレミアムをご利用の方

フレッツ・光プレミアムをご利用の方は、加入者線網終端装置（CTU）の空いているLANポートへ本装置を接続します。

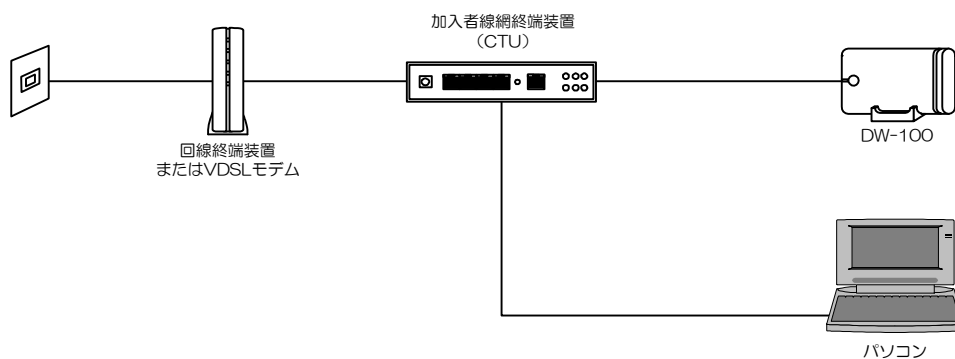


図 11 フレッツ・光プレミアムをご利用の方の接続例

1.7.4 フレッツ・ADSLをご利用の方

フレッツ・ADSL をご利用の方でADSL モデムにLANポートが一つしかない場合は、HUBなどを追加して、HUB にパソコンや本装置を接続します。ADSL モデムにLANポートが複数ある場合は、空いているLANポートへ本装置を接続します。（HUBは不要です）

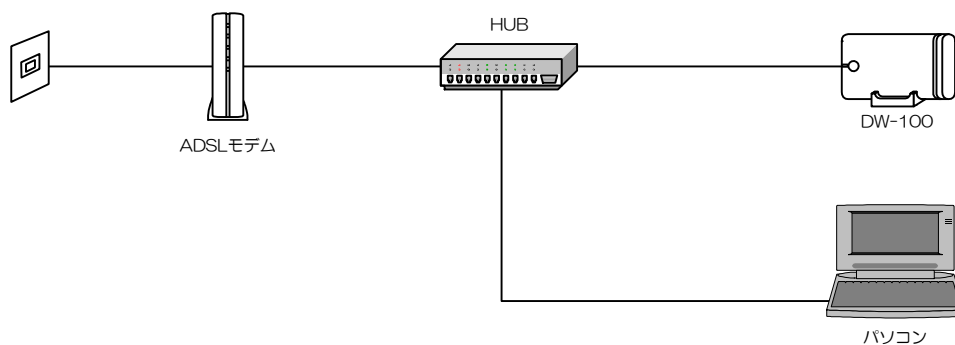


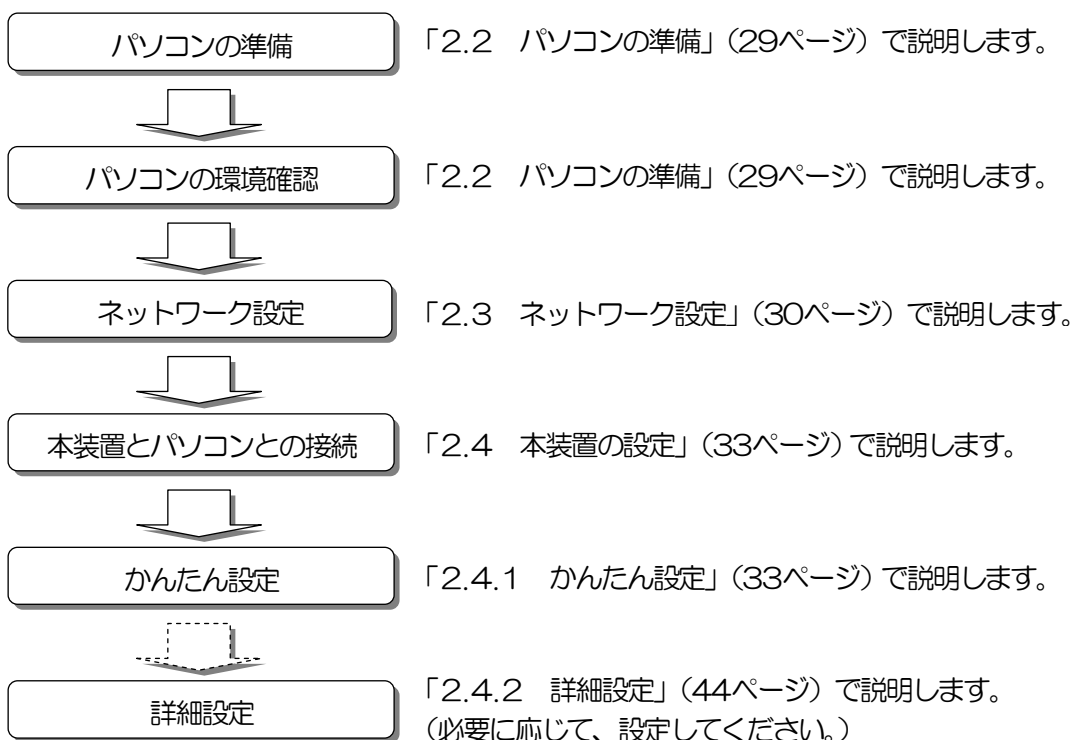
図 12 フレッツ・ADSL をご利用の方の接続例

第2章 本装置の設定

本章では本装置の設定について説明します。

2.1 操作の流れ

設置が終わりましたら、本装置を使用するための設定をします。本章での操作の流れを以下に記載します。



2.2 パソコンの準備

本装置の設定を行うためにはパソコンを準備する必要があります。パソコンは、現在インターネットなどご利用のものでも構いませんが、以下がインストールされているものをお使いください。これ以外の環境では正常に動作しません。

- ・Windows の場合
OS : Windows XP または Windows Vista、
ブラウザ : Internet Explorer 6.0 または 7.0
- ・Macintosh の場合
OS : Mac OS X v10.4
ブラウザ : Safari 3.12

2.3 ネットワーク設定

現在ご使用のインターネット環境に合わせて、本装置およびパソコンの環境設定を行います。パソコンのOSにWindowsをご利用の方は以下、Macintoshをご利用の方は32ページをご覧ください。なお、OSの設定内容により、表示が異なる場合があります。

なお、本装置のWEB用IPv4アドレスは、工場出荷時には以下の設定となっています。

- ・IPアドレス：192.168.1.150
- ・サブネットマスク：255.255.255.0
- ・デフォルトゲートウェイ：192.168.1.1

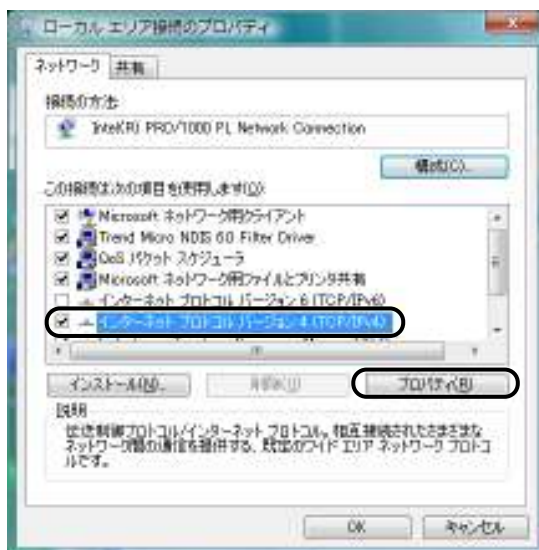
2.3.1 Windowsをご利用の方

(1) 本装置の接続

- ①ご利用のネットワーク環境（ルータやHGW、回線終端装置等のLANポート）に本装置を接続します。サービス毎の接続例を1.7.1～1.7.4（27～28ページ）に示します。
- ②添付の電源アダプタを本装置に接続し、ACコンセントに挿します。
（本装置へ電源投入後、しばらくするとブザー音が鳴ります。止める場合は、停止/試験スイッチを1秒以上押してください。）

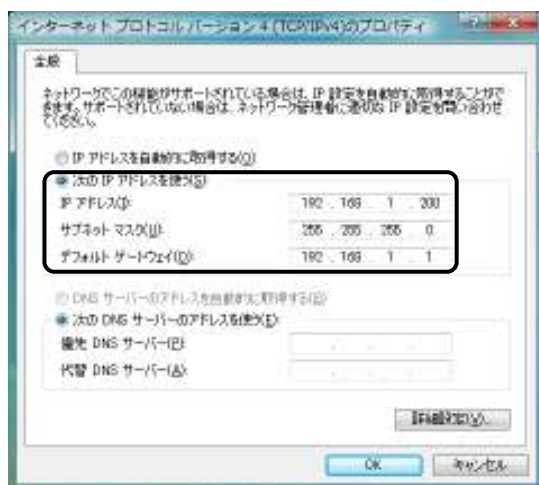
(2) パソコンの設定変更

- ① [スタート] (Windows のロゴボタン) → [コントロールパネル] を選択します。
- ② [ネットワークとインターネット] → [ネットワークと共有センター] の順にクリックし、タスク欄の「ネットワーク接続の管理」をクリックすると、「ネットワーク接続」の画面が開きます。(Windows XP では、[ネットワークとインターネットの接続] → [ネットワーク接続] の順にクリックします。)
- ③ 「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックし、プロパティを選択します。
（「ユーザアカウント制御」のダイアログが表示された場合は、[続行] ボタンを押してください。）
- ④ ネットワークタブの [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IP)] を選択して、[プロパティ] をクリックすると、「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が開きます。(Windows XP では、全般タブの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択して、[プロパティ] をクリックします。)



⑤パソコンの設定を変更する前に、画面に表示されている設定内容を必ず控えてください。
78ページの「ユーザ設定記入シート」をご利用ください。

【注 意】画面下のDNSサーバーの設定については、変更の必要はありませんが、万一の誤
消去等に備えて控えておくことをおすすめします。



⑥「次の IP アドレスを使う」を選択し、IP アドレス、サブネットマスクおよびデフォルト
ゲートウェイを以下の設定に変更し、[OK] ボタンを押します。

- ・IP アドレス：192.168.1.200
- ・サブネットマスク：255.255.255.0
- ・デフォルトゲートウェイ：192.168.1.1

設定完了後は、全ての画面を閉じます。

これで、本装置へアクセスできるようになりました。「2.4.1 かんたん設定」(33ペ
ージ)に進み、契約エリアの設定、契約サービスの設定および設置場所の入力を行って
ください。

2.3.2 Macintoshをご利用の方

(1) 本装置の接続

①2.3.1 (1) 本装置の接続 (30ページ) を参照してください。

(2) パソコンの設定変更

①画面左上の「アップルメニュー」の [システム環境設定...] をクリックし、「インターネットとネットワーク」の「ネットワーク」を選択します。

②ネットワーク画面の「ネットワーク環境」は「自動」、「表示」は「内蔵 Ethernet」を選択し、「TCP/IP」タブをクリックします。

③パソコンの設定を変更する前に、画面に表示されている設定内容を必ず控えてください。78ページの「ユーザ設定記入シート」をご利用ください。

【注 意】DNS サーバについては変更の必要はありませんが、万一の誤消去等に備えて控えておくことをおすすめします。



④「IPv4 の設定」は「手入力」を選択し、IP アドレス、サブネットマスクおよびルーターを以下の設定に変更します。

- ・IP アドレス：192.168.1.200
- ・サブネットマスク：255.255.255.0
- ・ルーター：192.168.1.1

設定後は [今すぐ適用] ボタンを押し、設定内容を反映させます。

これで、本装置へアクセスできるようになりました。「2.4.1 かんたん設定」(33ページ)に進み、契約エリアの設定、契約サービスの設定および設置場所の入力を行ってください。

2.4 本装置の設定

ここでは、本装置の設定について説明します。パソコンから本装置への設定を行うために、お客様の環境に合わせて、「1.7.1 フレッツ 光ネクストをご利用の方」(27ページ)、「1.7.3 フレッツ・光プレミアムをご利用の方」(28ページ)、「1.7.2 Bフレッツをご利用の方」(27ページ)、「1.7.4 フレッツ・ADSLをご利用の方」(28ページ)を参考にして、本装置、パソコンおよび周辺機器と接続します。

2.4.1 かんたん設定

はじめに本装置をお使いいただくための最低限の設定を「かんたん設定」により行います。設定する内容は以下となります。

1. 契約エリアの選択
2. 契約サービスの選択
3. 設置場所の入力（設置場所、地盤増幅率）

(1) スタート

パソコンのブラウザを起動し、アドレスバーに本装置の「192.168.1.150」と入力し、ページを開いてください。本装置に初めてアクセスしたとき、以下の画面が表示されます。[スタート] ボタンを押してステップ1の画面へ進みます。



図 13 かんたん設定 スタート画面

【注 意】図 13の画面が表示されない場合、接続される機器のネットワークアドレスが異なるか、IP アドレスが重複していることが考えられます。本装置、パソコンおよび接続機器のネットワーク設定を確認して、正しい設定を行ってください。

(2) 契約エリアの選択

本装置を使用するエリアを選択します。

東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区にお住まいの方は「NTT 西日本エリア」、北海道、東北、関東、甲信越地区にお住まいの方は、「NTT 東日本エリア」を選択します。

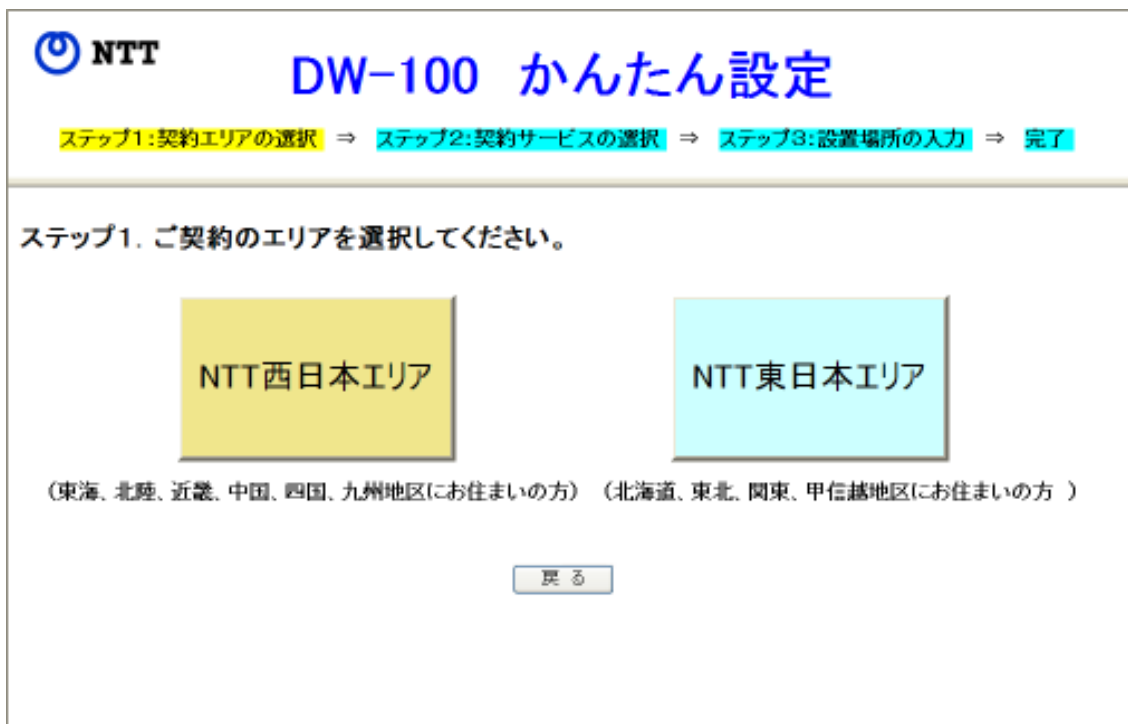


図 14 かんたん設定 契約エリアの選択画面

(3) 契約サービスの選択

本装置を使用する契約サービスを選択します。

フレッツ 光ネクストをご利用の場合は「フレッツ 光ネクスト」、それ以外をご利用の場合（以下のサービスが対象となります）は「フレッツ 光ネクスト以外」を選択します。

フレッツ 光ネクスト以外の対象サービス

NTT 東日本エリア：B フレッツ、フレッツ・ADSL

NTT 西日本エリア：B フレッツ、フレッツ・ADSL、フレッツ・光プレミアム

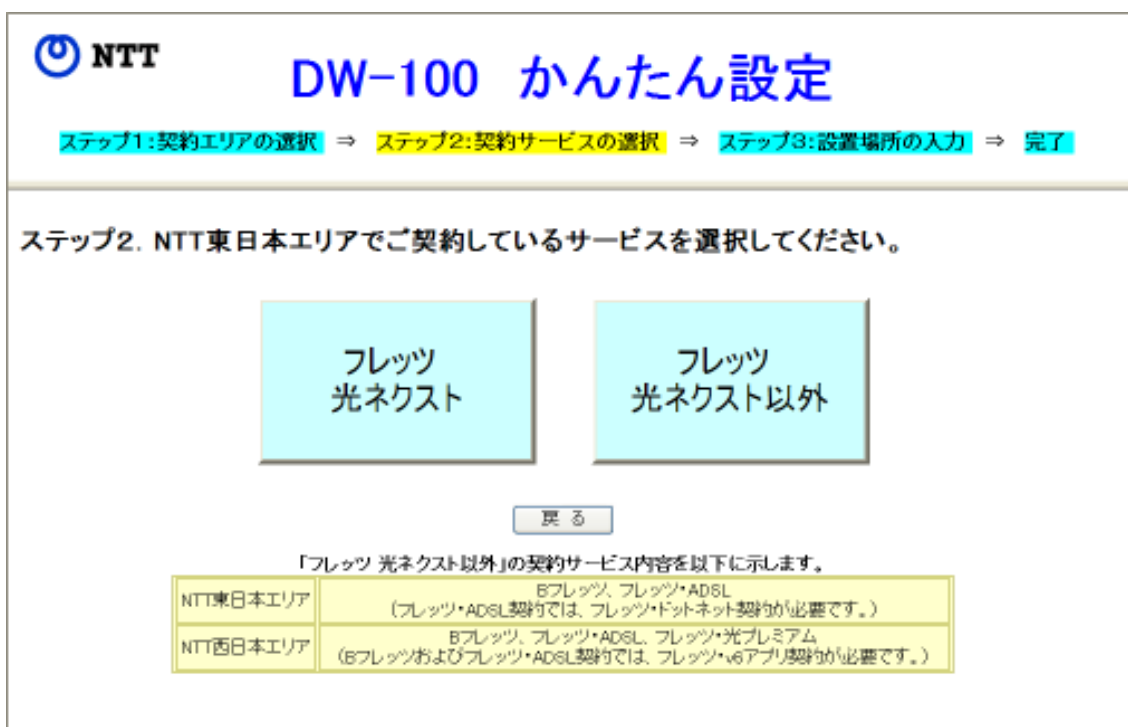


図 15 かんたん設定 契約サービスの選択画面

(4) 設置場所の入力

本装置を使用する場所および地盤増幅率を設定します。

NTT DW-100 かんたん設定

ステップ1:契約エリアの選択 ⇒ ステップ2:契約サービスの選択 ⇒ ステップ3:設置場所の入力 ⇒ 完了

ステップ3. 本装置の設置情報を確認します。

・設置場所設定
郵便番号を入力した後「検索」ボタンを押して住所を設定するか、緯度、経度を直接入力してください。

項目	内容
入力方法の選択	<input checked="" type="radio"/> 郵便番号入力 <input type="radio"/> 手動入力
郵便番号	〒 <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="button" value="検索"/>
都道府県	<input type="text"/>
住所1	<input type="text"/>
住所2	<input type="text"/>
緯度	<input type="text"/>
経度	<input type="text"/>

・地盤増幅率設定
地盤増幅率を直接入力してください。

項目	内容
地盤増幅率	<input type="text"/>

図 16 かんたん設定 設置場所の入力画面

・設置場所設定

【解説】本装置を使用する場所を設定します。

・設置場所設定／入力方法の選択

【解説】本装置を使用する場所の設定方法を指定します。設定には郵便番号を入力する「郵便番号入力」と直接経度・緯度を入力する「手動入力」があります。

【出荷設定】郵便番号入力

・設置場所設定／郵便番号

【解説】本装置を使用する場所の郵便番号を入力し、[検索] ボタンを押すと、図 17 (37 ページ) の画面が表示され、住所情報を検索します。検索が完了すると、図 18 (37 ページ) の画面が表示され、該当する住所情報が「都道府県」、「住所 1」および「住所 2」に表示されます。検索された住所情報が 2 つ以上あるときには、プルダウンメニューから該当する住所情報を選択してください。

【入力形式】〒「xxx」-「xxxx」(x は 0~9 の半角数字) の形式で 7 桁を入力してください。

【出荷設定】何も設定されていません。

【注 意】郵便番号による住所情報の検索は、入力方法の選択が「郵便番号入力」のときのみ有効です。本装置が正しくネットワークに接続されていない場合は、[検索] ボタンを押しても住所情報を検索することはできません。また、検索結果に該当する住所情報が表示されない場合は、手動入力により緯度、経度を入力してください。

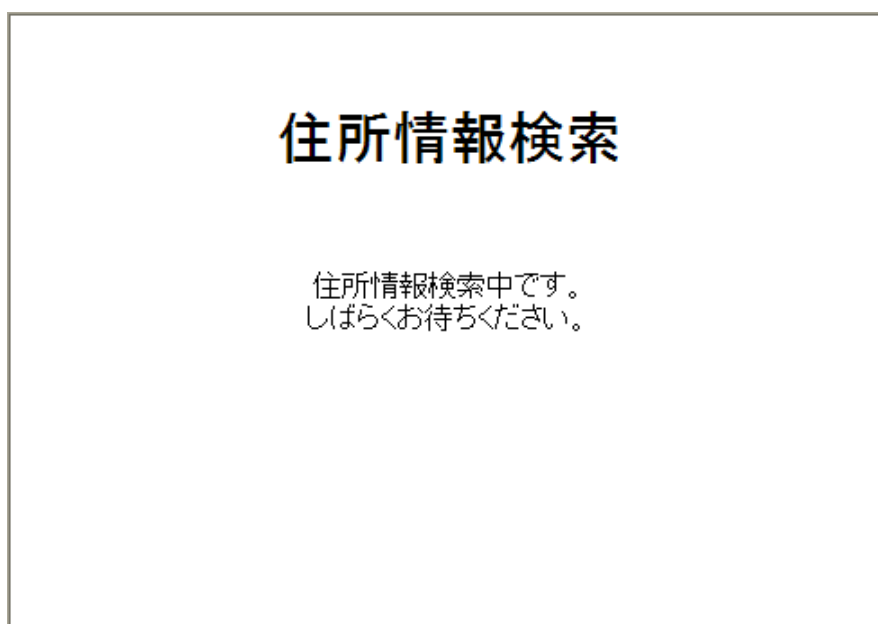


図 17 かんたん設定 設置場所の入力 郵便番号検索中画面

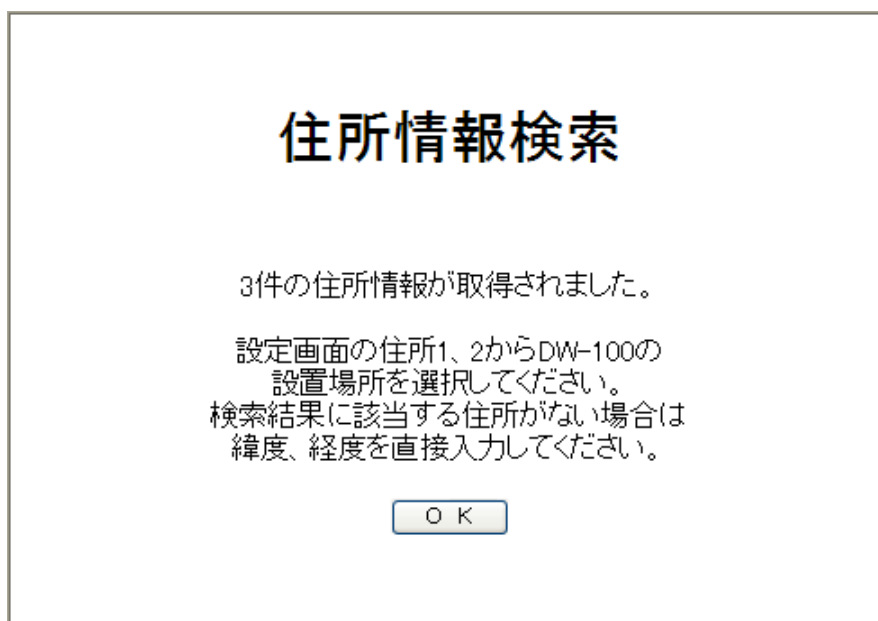


図 18 かんたん設定 設置場所の入力 郵便番号検索結果画面

・設置場所設定／都道府県

【解説】郵便番号から該当する都道府県名が表示されます。

・設置場所設定／住所 1、住所 2

【解説】郵便番号から該当する市区町村名以下の住所情報が表示されます。

・設置場所設定／緯度

【解説】本装置を使用する場所の緯度を設定します。「郵便番号検索」に比べて、より正確な場所を設定することができます。

【入力形式】「xx.xxxx」（xは0～9の半角数字）の形式で、小数点以下4桁まで入力可能です。
例) 35.6835

【出荷設定】何も設定されていません。

【注意】本設定は、入力方法の選択が「手動入力」に設定されているときのみ有効です。また、緯度は日本周辺の値のみ入力可能です。

・設置場所設定／経度

【解説】本装置を使用する場所の経度を設定します。「郵便番号検索」に比べて、より正確な場所を設定することができます。

【入力形式】「xxx.xxxx」（xは0～9の半角数字）の形式で、小数点以下4桁まで入力可能です。
例) 139.6880

【出荷設定】何も設定されていません。

【注意】本設定は、入力方法の選択が「手動入力」に設定されているときのみ有効です。また、経度は日本周辺の値のみ入力可能です。

・地盤増幅率

【解説】本装置を使用する場所の地盤増幅率を入力します。地盤増幅率とは、地震波の内S波の地表付近における揺れの伝わりやすさ（増幅度）を示すものです。一般的には1が基準となり、1より大きい場合は揺れやすく、1より小さい場合は揺れにくいと言えます。地盤増幅率を調べる場合は、下記アドレスのホームページをご覧ください。

<http://jishin.ocn.ne.jp/garate/search.php>

(NTT コミュニケーションズホームページ)

※当サイトのアドレスは変更となる可能性があります。当サイトアドレスの最新情報は、本書巻末の弊社ホームページをご覧ください。

【入力形式】「xxxxxx」（xは0～9の半角数字）の形式で、0より大きく、10より小さい値（0.00001～9.99999）を入力します。小数点以下5桁まで入力可能です。
例) 2.03663

【出荷設定】何も設定されていません。

【参考】参考に、一般的な地形に対する地盤増幅率を以下へ記載します。ただし、この値はあくまで参考値ですので、お客様の設置場所にあった地盤増幅率を調べて入力してください。

山地：1.2、三角州・旧河道：1.9、台地・砂州：2.1、扇状地：2.2

谷底平野・埋立地：2.3、自然堤防：2.5

全てのステップが完了するとこれまでの設定内容の一覧が表示され、各設定内容の確認ができます。設定内容に間違いがなければ、[設定OK] ボタンを押します。間違った箇所があった場合は、[設定開始画面に戻る] ボタンを押し、はじめから設定してください。

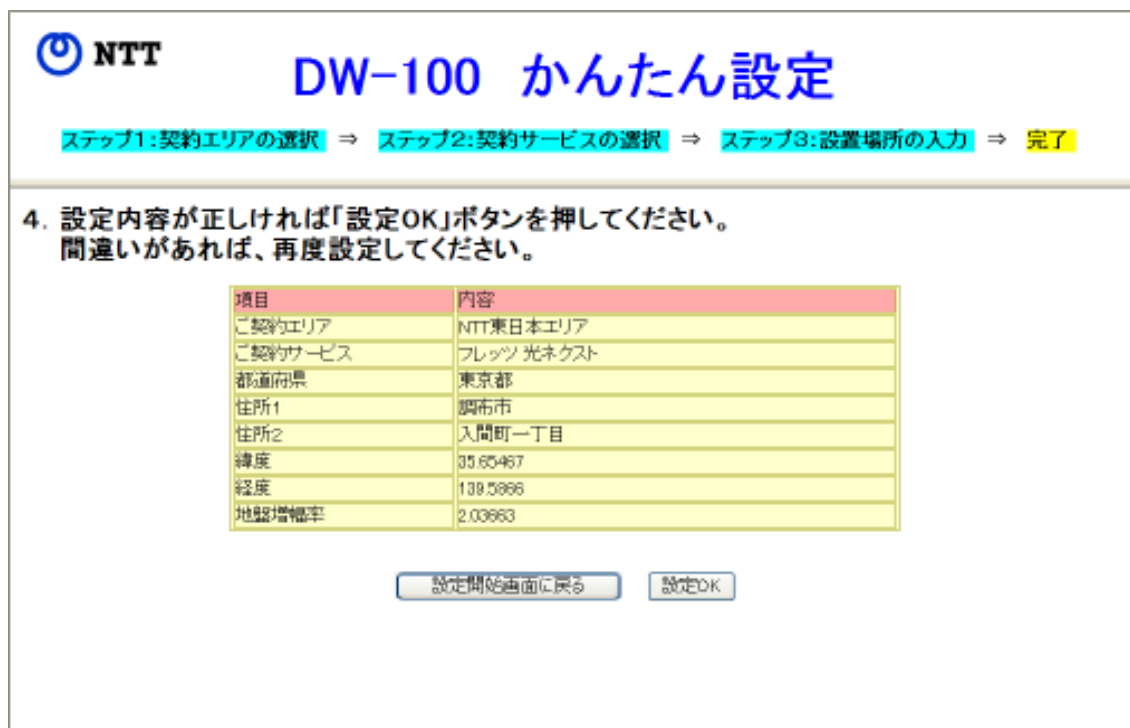


図 19 かんたん設定 設定内容の確認画面

図 19 (39ページ) で [設定OK] ボタンを押すと、図 20 (40ページ) の画面が表示されます。その後、本装置は自動的に再起動し、かんたん設定の内容が本装置に反映されます。



図 20 かんたん設定 完了画面

これで本装置を使用する基本的な設定は完了し、地震速報を受信することができる状態（待ち受け状態）になりました。この状態で地震速報を受信すると、その内容に基づいて本装置の設定により、音声と LED で通知します。工場出荷設定における代表的な設定内容を以下に示します。詳しい内容については、各詳細設定の各項目をご覧ください。また、地震速報を受信したときの本装置の動作例を次ページに示します。

【注 意】「2.3 ネットワーク設定」(30～32ページ) でパソコンの設定を変更した場合、パソコンの設定を「ユーザ設定記入シート」(78ページ) に控えた内容に必ず戻してください。

- ・動作設定：震度 3 以上の地震速報を受信したときに通知します。
地震速報を複数受信したときは、最初に受信した地震速報より後から来た地震速報の方の予想震度が大きい場合のみ通知します。
- ・音量・LED 設定：地震速報受信時のスピーカ音量と LED の動作は以下の通りです。

	震度 2 以下 ※	震度 3～4	震度 5 弱 以上	試験報	訓練報
音量	小	中	大	消音	消音
LED	点滅	点滅	点滅	消灯	消灯

※工場出荷設定では、震度 2 以下の地震速報を受信しても通知しません。

- ・サイン音設定：地震速報を受信すると、サイン音 1（ポーン音）で通知します。
- ・自動時刻調整間隔：NTP サーバへのアクセスし、自動的に時刻合わせを行う間隔は 0.5 時間です。

例 1) 震度 6 強、到達猶予時間 8 秒の地震が発生した場合（工場出荷設定時）

猶予時間	スピーカからの音
8 秒	(LED (赤) が点滅) “8 秒後に震度 6 強の地震が来ます” (本アナウンスで 5 秒経過)
3 秒	“地震が来ます”
2 秒	“地震が来ます”
1 秒	“地震が来ます”
0 秒	“地震が来ます”
—	“揺れが収まるまで身を守ってください。あわてて外へ飛び出さないようにしてください。揺れが収まったら火の元を確認し、安全な場所に避難してください。報道機関や自治体からの情報に注意して、冷静に行動しましょう。”

例 2) 震度 3、到着猶予時間 35 秒の地震が発生した場合（工場出荷設定時）

猶予時間	スピーカからの音
35 秒	“ブーン” (LED (赤) が点滅)
34 秒	“34 秒後に震度 3 の地震が来ます” (本アナウンスで 5 秒経過)
29 秒	“揺れが収まるまで身を守ってください” (本アナウンスで 4 秒経過)
:	(毎秒 “プッ”)
20 秒	“20 秒後に地震が来ます”
:	(毎秒 “プッ”)
10~1 秒	“10”、“9”、“8”、“7”、“6”、“5”、“4”、“3”、“2”、“1” (カウントダウン)
0 秒	“揺れが収まるまで身を守ってください。あわてて外へ飛び出さないようにしてください。揺れが収まったら火の元を確認し、安全な場所に避難してください。報道機関や自治体からの情報に注意して、冷静に行動しましょう。”

緊急地震速報は、情報を見聞きしてから地震の強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るための行動を取る必要があります。

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は「周囲の状況に応じて、あわてずに、まずは身の安全を確保する」ことが基本です。すぐに頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れてください。あわてて外に飛び出さないでください。無理して火を消そうとしないでください。時間に余裕があるときには窓や戸を開けて、出口を確保してください。

緊急地震速報「利用の心得」

周囲の状況に応じて
あわてずに
まず身の安全を確保する

(5) IPv4 アドレスの設定

ブラウザから本装置へアクセスするためのWEB用IPv4 アドレスを設定します。図 13 (33ページ) の「IPv4 設定」ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。



WEB用IPv4アドレス				
IPアドレス	192	168	1	150
サブネットマスク	255	255	255	0
デフォルトゲートウェイ	192	168	1	1

図 21 かんたん設定 WEB用IPv4 アドレス設定画面

【解説】WEB用IPv4アドレスのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。出荷設定から変更する必要がない場合は、[戻る]ボタンを押して、契約エリア、契約サービスおよび設置場所の入力の各設定を行ってください。

・WEB用IPv4アドレス/IPアドレス

【解説】本装置のIPアドレスを設定します。

【入力形式】「xxx.xxx.xxx.xxx」(xxxは10進数で0~255の値)の形式で入力します。ただし、下記のIPアドレス(予約アドレス及びクラスD、クラスE)は設定できません。

0.xxx.xxx.xxx、127.xxx.xxx.xxx、128.0.xxx.xxx、191.255.xxx.xxx

192.0.0.xxx、223.255.255.xxx、224.0.0.0~255.255.255.255

【出荷設定】192.168.1.150

【注意】本装置のIPv4アドレスを変更し、それに伴ってネットワークアドレスが変わった場合には、接続されているパソコンのIPアドレスも同じネットワーク内のIPアドレスに設定する必要があります。

・WEB用IPv4 アドレス/サブネットマスク

【解説】本装置のサブネットマスクを設定します。

【入力形式】「xxx.xxx.xxx.xxx」（xxxは10進数で0～255の値）の形式で入力します。

【出荷設定】255.255.255.0

・WEB用IPv4 アドレス/デフォルトゲートウェイ

【解説】LAN間を接続するルータのIPアドレスを設定します。

【入力形式】「xxx.xxx.xxx.xxx」（xxxは10進数で0～255の値）の形式で入力します。ただし、下記のIPアドレス（予約アドレス及びクラスD、クラスE）は設定できません。

0.xxx.xxx.xxx、127.xxx.xxx.xxx、128.0.xxx.xxx、191.255.xxx.xxx

192.0.0.xxx、223.255.255.xxx、224.0.0.0～255.255.255.255

【出荷設定】192.168.1.1

各WEB用IPv4アドレスを入力し、「設定OK」ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。内容確認後は本画面を閉じてください。本装置は自動的に再起動し、新たに設定したWEB用IPv4アドレスで起動します。パソコンや接続される機器のネットワーク設定も本装置に合わせて設定を変更してください。



図 22 かんたん設定 IPv4 アドレス設定 完了画面

2.4.2 詳細設定

「かんたん設定」による契約エリア、契約サービスおよび設置場所の入力が完了すると、本装置をお使いになることができます。

本装置のステータスやイベントログの表示、通知設定、メンテナンス設定やデモ設定を行う場合は、「詳細設定」を行ってください。本設定は、特に必要がなければ、設定する必要はありません。

(1) ログイン

詳細設定を行うためには本装置へログインする必要があります。「かんたん設定」のあと、パソコンから本装置に初めてアクセスしたとき、以下の画面が表示されます。

図 23 ログイン画面

【解説】本装置の詳細設定を行うために「ログインID」と「パスワード」を入力し、[送信] ボタンを押します。詳細設定を初めて行うときはログインIDに「user」、パスワードに「user」を入力してください。パスワードはメンテナンス設定の「パスワード設定」(57ページ)にて変更することができます。

【注意】「メンテナンス設定」にてパスワードを変更したあと、パスワードを忘れてしまったときには本装置を初期化してください。初期化の方法については、「第3章 お買い求めの状態に戻すには」(73ページ)を参照してください。

本装置へ正しくログインすると、以下の画面が表示されます。

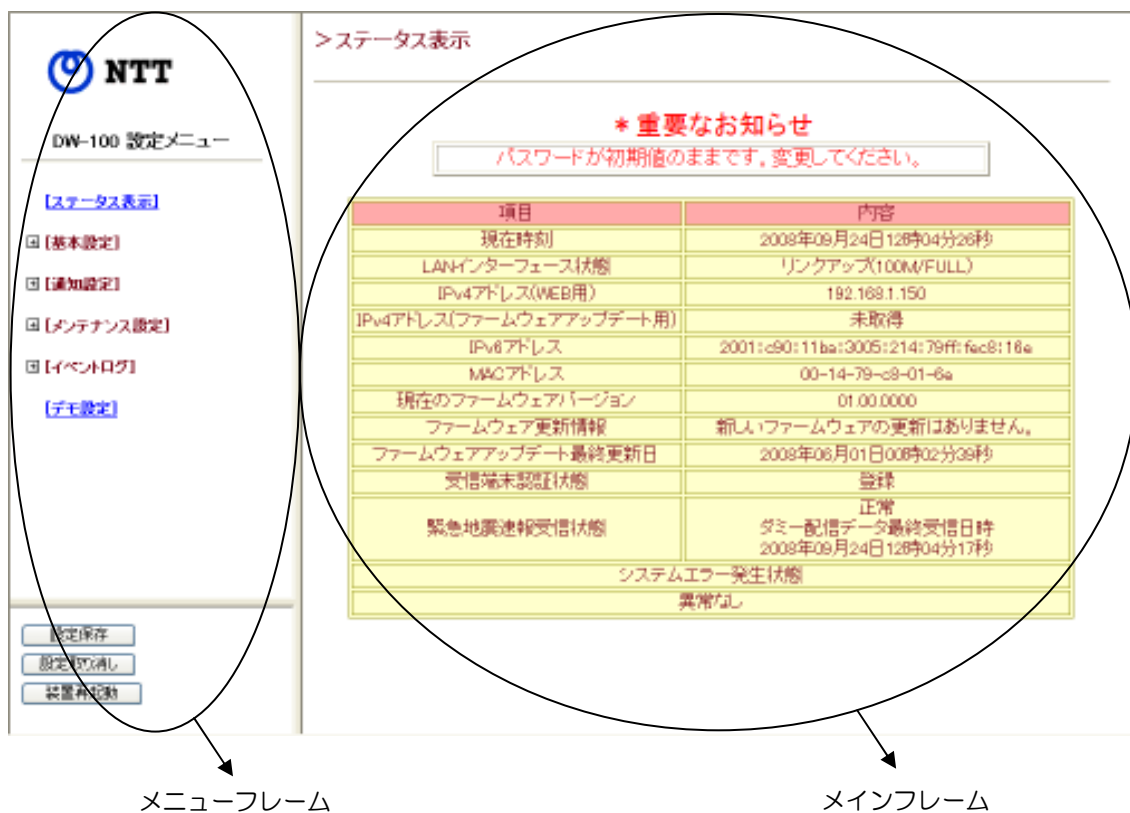


図 24 トップページの画面

詳細設定の画面は大きく2つのフレームに分けられます。操作したい項目を左のメニューフレームの中から選択すると、右のメインフレームの内容が変わるようになっていきます。また、メニューの左側にある「田」（プラス記号）をクリックするとサブメニューが表示され、選択すると右のメインフレームに内容が表示されます。

メニューフレームの左下には、[設定保存] ボタン、[設定取り消し] ボタン、[装置再起動] ボタンがあります。各ボタンの機能は以下のとおりです。

・設定保存ボタン

【解説】「基本設定」、「通知設定」、「メンテナンス設定」および「デモ設定」の設定保存を行うときに使います。このボタンを押すと、メインフレームの[設定] ボタンを押して一時的に記憶された設定を本装置に保存・反映します。

【注意】設定内容によっては本装置の再起動が必要になる場合があります。

・設定取り消しボタン

【解説】設定変更後、変更した設定を一括で取り消すときに使います。

【注意】設定取り消しは、[設定保存] ボタンを押して本装置に保存した設定を取り消す機能ではありません。[設定保存] ボタンを押す前の一時的に記憶された設定を取り消すことができます。

・装置再起動ボタン

【解説】本装置の再立ち上げを行うことができます。このボタンを押すと確認画面が表示され、[OK] ボタンを押すと装置は再起動を実行します。また、ファームウェアのアップデートを行った際には、このボタンが点滅し、装置を再起動するメッセージが表示されます。本ボタンを押して、装置を再起動させてください。

また、各設定画面のメインフレーム（例を以下の図に示します）には、[取り消し] ボタンと [設定] ボタンがあります。各ボタンの機能は以下のとおりです。

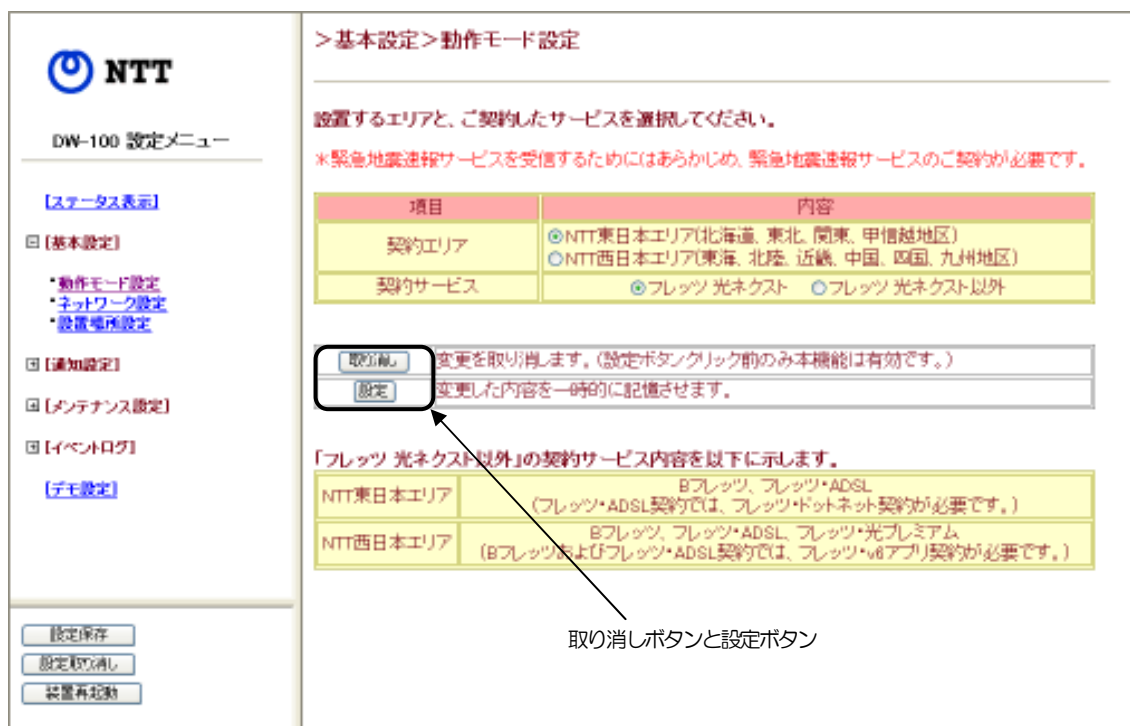


図 25 取り消しボタンと設定ボタン

・取り消しボタン

【解説】このボタンを押すと、ブラウザ上の設定を本装置に保存されている設定状態に戻します。ただし、[設定] ボタンをクリックする前のみ有効となります。

・設定ボタン

【解説】このボタンを押すと、ブラウザ上の設定が本装置に一時的に記憶されます。

【注意】[設定] ボタンを押すだけでは、設定は本装置に保存・反映されませんので、必ずメニューフレームの [設定保存] ボタンを押して、保存・反映させてください。

(2) ステータス表示

メニューフレームの「ステータス表示」を選択すると、以下の画面が表示されます。

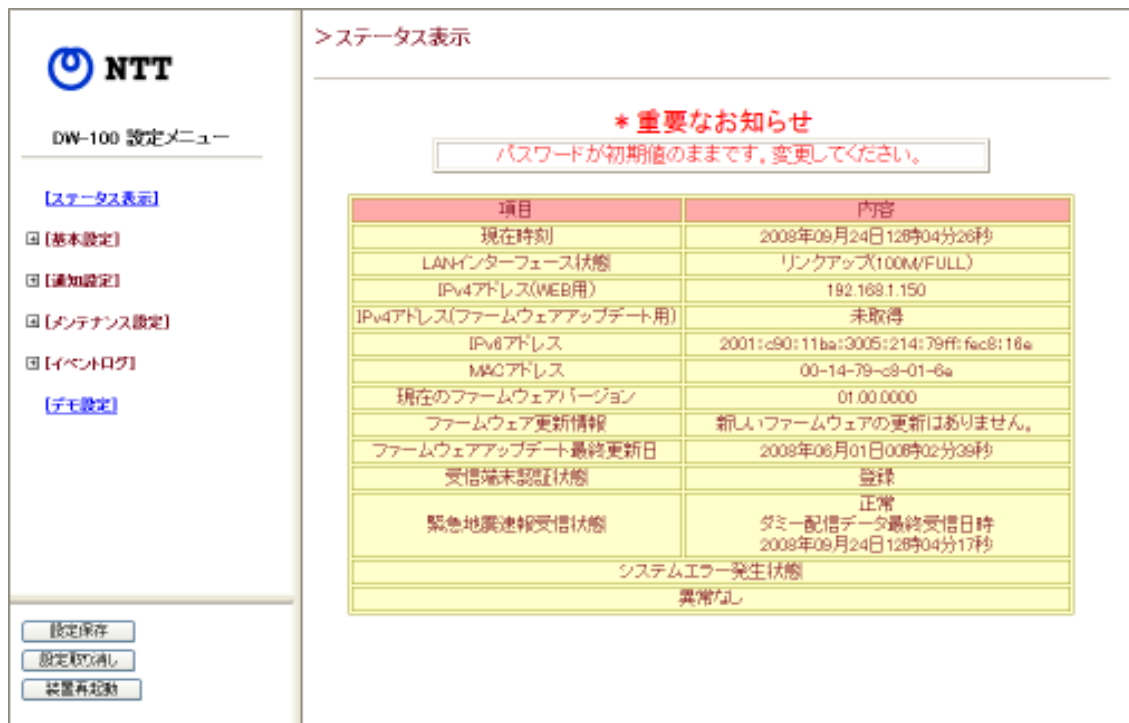


図 26 ステータス表示画面

【 解 説 】 本装置のステータスを表示します。表示内容は、ステータス表示へアクセスしたときの状態が表示されます。各項目の内容については以下を参照してください。

- ・ 現在時刻：本装置に設定されている時刻情報を表示します。
- ・ LAN インタフェース状態：LAN ポートのリンク状態を表示します。
- ・ IPv4 アドレス (WEB 用)：WEB 用 IPv4 アドレスを表示します。
- ・ IPv4 アドレス (ファームウェアアップデート用)
：ファームウェアアップデート用 IPv4 アドレスを表示します。
- ・ IPv6 アドレス：マルチキャスト通信用 IPv6 アドレスを表示します。
- ・ MAC アドレス：MAC アドレスを表示します。
- ・ 現在のファームウェアバージョン
：現在使用しているファームウェアのバージョンを表示します。
- ・ ファームウェア更新情報：新しいファームウェアの有無を表示します。
- ・ ファームウェアアップデート最終更新日
：ファームウェアの最終更新日を表示します。
- ・ 受信端末認証状態：本装置の認証状態を表示します。
- ・ 緊急地震速報受信状態：地震速報の受信状態を表示します。
- ・ システムエラー発生状態：システムエラーの発生状態を表示します。

【 注 意 】 ステータス表示画面の上方に「*重要なお知らせ」が表示されたときはログインのときに使用するパスワードを変更してください。パスワードの変更はメンテナンス設定の「パスワード設定」(57ページ)を参照してください。

(3) 基本設定

メニューフレームの「基本設定」の左側のプラス記号をクリックし、表示される「動作モード設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

>基本設定>動作モード設定

設置するエリアと、ご契約したサービスを選択してください。

*緊急地震速報サービスを受信するためにはあらかじめ、緊急地震速報サービスのご契約が必要です。

項目	内容
契約エリア	<input checked="" type="radio"/> NTT東日本エリア(北海道、東北、関東、甲信越地区) <input checked="" type="radio"/> NTT西日本エリア(東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区)
契約サービス	<input checked="" type="radio"/> フレッツ 光ネクスト <input type="radio"/> フレッツ 光ネクスト以外

<input type="button" value="取消"/>	変更を取り消します。(設定ボタンクリック前のみ本機能は有効です。)
<input type="button" value="設定"/>	変更した内容を一時的に記憶させます。

「フレッツ 光ネクスト以外」の契約サービス内容を以下に示します。

NTT東日本エリア	Bフレッツ、フレッツ・ADSL (フレッツ・ADSL契約では、フレッツ・ドットネット契約が必要です。)
NTT西日本エリア	Bフレッツ、フレッツ・ADSL、フレッツ・光プレミアム (Bフレッツおよびフレッツ・ADSL契約では、フレッツ・v8アプリ契約が必要です。)

設定保存
設定取り消し
装置再起動

図 27 基本設定 動作モード設定画面

- 【解説】本装置を設置するエリアとご契約のサービスを設定します。設定内容については、かんたん設定の「契約エリアの選択」(34ページ) および「契約サービスの選択」(35ページ)を参照してください。
- 【注意】本画面には、かんたん設定で設定した内容のラジオボタンが選択されています。本装置を実際にお使いになるエリアや契約サービスと設定した内容が異なる場合は再度この画面で設定してください。

メニューフレームの「基本設定」の左側のプラス記号をクリックし、表示される「ネットワーク設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

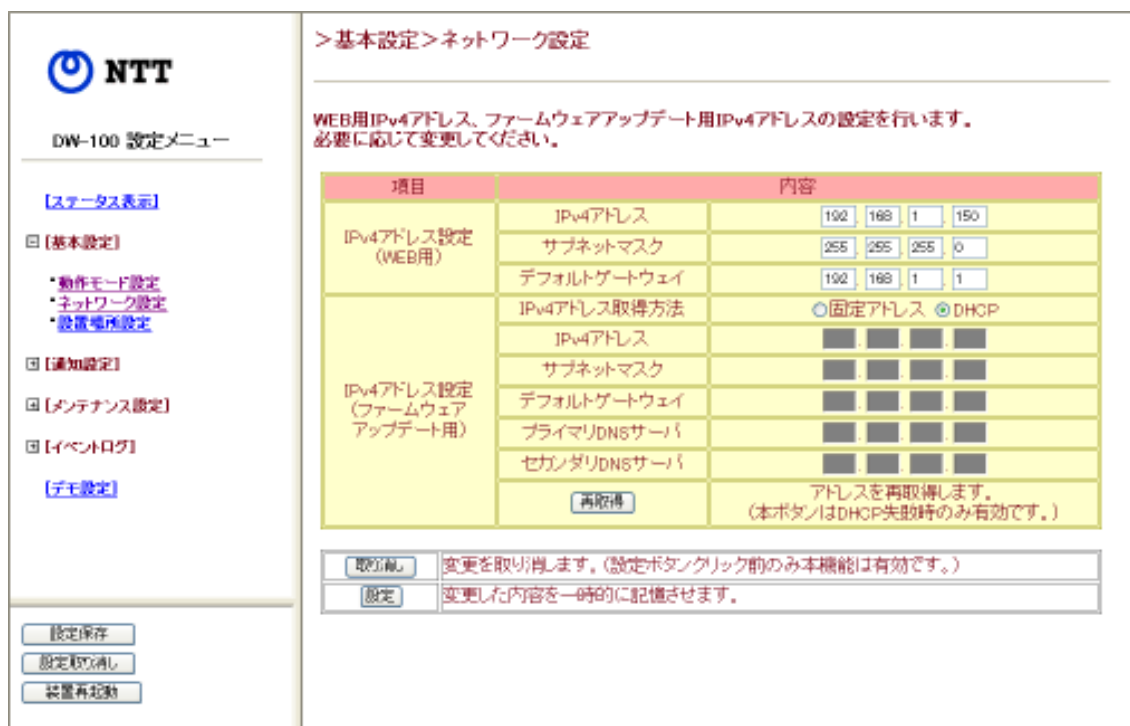


図 28 基本設定 ネットワーク設定画面

【解説】ブラウザからのアクセスおよびファームウェアのアップデートのための IPv4 アドレスを設定します。

・IPv4 アドレス設定 (WEB 用)

【解説】ブラウザからの本装置へアクセスするために IPv4 形式で IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。設定内容については、かんたん設定の「IPv4 アドレスの設定」(42ページ)を参照してください。

【注意】本画面では、かんたん設定で設定した内容を表示します。本装置を実際にお使いになる環境と設定した内容が異なる場合は再度この画面で設定してください。

・IPv4 アドレス設定 (ファームウェアアップデート用)

【解説】ファームウェアアップデートを行うために IPv4 形式で IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。IPv4 アドレス取得方法を「DHCP」に設定したときは、IPv4 アドレスからセカンダリ DNS サーバは設定する必要はありません。

・IPv4 アドレス設定 (ファームウェアアップデート用) / IPv4 アドレス取得方法

【解説】本装置のファームウェアアップデートを行うための IP アドレスを設定する方法を選択します。

設定は「固定アドレス」、「DHCP」のいずれかを選択します。

【出荷設定】DHCP

・IPv4 アドレス設定 (ファームウェアアップデート用) / IPv4 アドレス

【解説】本装置のファームウェアアップデート用 IP アドレスを設定します。

【入力形式】「xxx.xxx.xxx.xxx」(xxx は 10 進数で 0~255 の値) の形式で入力します。ただし、下記の IP アドレス(予約アドレス及びクラス D、クラス E)は設定できません。

0.xxx.xxx.xxx、127.xxx.xxx.xxx、128.0.xxx.xxx、191.255.xxx.xxx
192.0.0.xxx、223.255.255.xxx、224.0.0.0~255.255.255.255

【出荷設定】何も設定されていません。

【注意】本装置のファームウェアアップデート用 IPv4 アドレスを変更し、それに伴ってネットワークアドレスが変わった場合には、接続されているパソコンの IP アドレスも同じネットワーク内の IP アドレスに設定する必要があります。

・IPv4 アドレス設定 (ファームウェアアップデート用) / サブネットマスク

【解説】本装置のファームウェアアップデート用サブネットマスクを設定します。

【入力形式】「xxx.xxx.xxx.xxx」(xxx は 10 進数で 0~255 の値) の形式で入力します。

【出荷設定】何も設定されていません。

【注意】WEB 用サブネットマスクとファームウェアアップデート用サブネットマスクおよびパソコンのサブネットマスクは同じに設定する必要があります。

・IPv4 アドレス設定 (ファームウェアアップデート用) / デフォルトゲートウェイ

【解説】LAN 間を接続するファームウェアアップデート用ルータの IP アドレスを設定します。

【入力形式】「xxx.xxx.xxx.xxx」(xxx は 10 進数で 0~255 の値) の形式で入力します。ただし、下記の IP アドレス(予約アドレス及びクラス D、クラス E)は設定できません。

0.xxx.xxx.xxx、127.xxx.xxx.xxx、128.0.xxx.xxx、191.255.xxx.xxx
192.0.0.xxx、223.255.255.xxx、224.0.0.0~255.255.255.255

【出荷設定】何も設定されていません。

・IPv4 アドレス設定 (ファームウェアアップデート用) / プライマリ DNS サーバ

【解説】プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。

【入力形式】「xxx.xxx.xxx.xxx」(xxx は 10 進数で 0~255 の値) の形式で入力します。ただし、下記の IP アドレス(予約アドレス及びクラス D、クラス E)は設定できません。

0.xxx.xxx.xxx、127.xxx.xxx.xxx、128.0.xxx.xxx、191.255.xxx.xxx
192.0.0.xxx、223.255.255.xxx、224.0.0.0~255.255.255.255

【出荷設定】何も設定されていません。

・IPv4 アドレス設定 (ファームウェアアップデート用) / セカンダリ DNS サーバ

【解説】セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。

【入力形式】「xxx.xxx.xxx.xxx」(xxx は 10 進数で 0~255 の値) の形式で入力します。ただし、下記の IP アドレス(予約アドレス及びクラス D、クラス E)は設定できません。

0.xxx.xxx.xxx、127.xxx.xxx.xxx、128.0.xxx.xxx、191.255.xxx.xxx
192.0.0.xxx、223.255.255.xxx、224.0.0.0~255.255.255.255

【出荷設定】何も設定されていません。

メニューフレームの「基本設定」の左側のプラス記号をクリックし、表示される「設置場所設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

>基本設定>設置場所設定

•設置場所設定
郵便番号を入力した後「検索」ボタンを押して住所を設定するか、緯度、経度を直接入力してください。

項目	内容
入力方法の選択	<input checked="" type="radio"/> 郵便番号入力 <input type="radio"/> 手動入力
郵便番号	〒 182 - 0004 [検索]
都道府県	東京都
住所1	鎌倉市
住所2	入間町一丁目
緯度	35.65467
経度	139.5896

•地盤増幅率設定
地盤増幅率を直接入力してください。

項目	内容
地盤増幅率	2.03963

取消 変更を取り消します。(設定ボタンクリック前のみ本機能は有効です。)
設定 変更した内容を一時的に記憶させます。

図 29 基本設定 設置場所設定画面

【解説】本装置を使用する場所や地盤増幅率を設定します。設定方法・内容については、かんたん設定の「設置場所の入力」(36ページ)を参照してください。なお、地盤増幅率を調べる場合は、下記アドレスのホームページをご覧ください。

<http://jishin.ocn.ne.jp/garate/search.php>

(NTT コミュニケーションズホームページ)

※当サイトのアドレスは変更となる可能性があります。当サイトアドレスの最新情報は、本書巻末の弊社ホームページをご覧ください。

【注意】本画面では、かんたん設定で設定した内容を表示します。本装置を実際にお使いになる環境と設定した内容が異なる場合は再度この画面で設定してください。

(4) 通知設定

メニューフレームの「通知設定」の左側のプラス記号をクリックし、表示される「動作設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

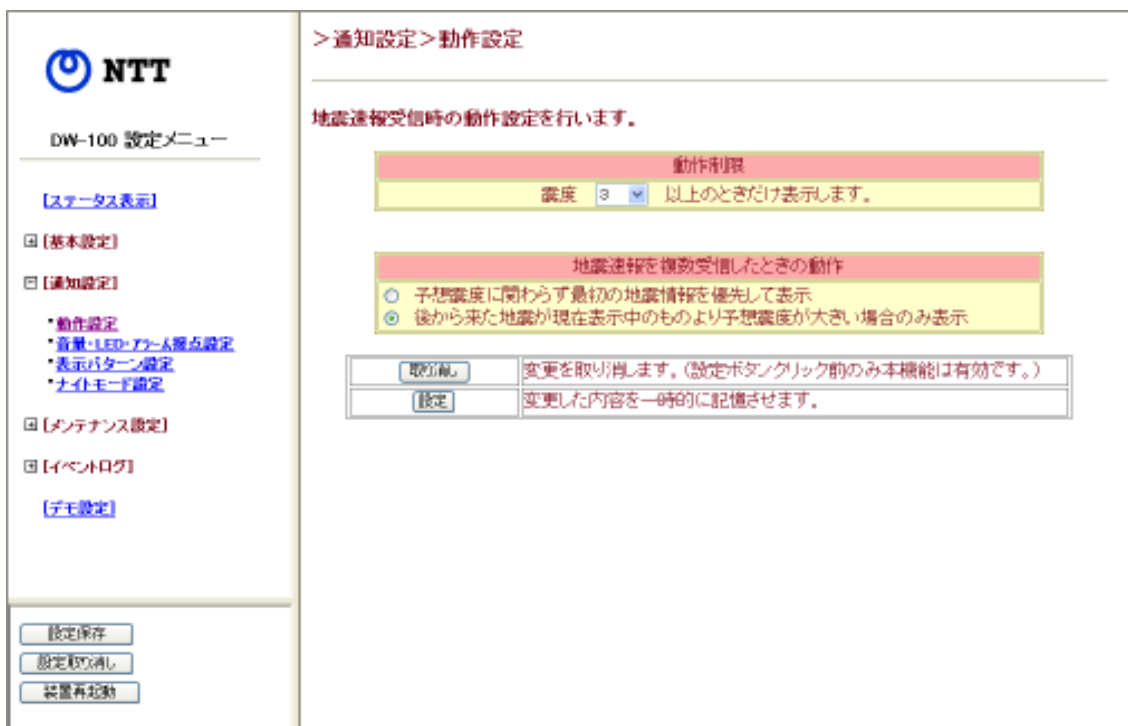


図 30 通知設定 動作設定画面

【解説】地震速報を受信したときの本装置の動作について設定します。

・動作制限

【解説】地震速報の震度情報がいくつ以上のときに通知するかを設定します。設定はプルダウンメニューからいずれかを選択します。

【出荷設定】3

・地震速報を複数受信したときの動作

【解説】本装置が地震速報を複数受信したときの動作について設定します。

【出荷設定】後から来た地震が表示中のものより予想震度が大きい場合のみ表示

メニューフレームの「通知設定」の左側のプラス記号をクリックし、表示される「音量・LED・アラーム接点設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。



図 31 通知設定 音量・LED・アラーム接点設定画面

【解説】地震速報を受信したときの各イベントに対する音量の大きさ、LEDの点灯、接点出力の設定をします。

【出荷設定】以下の表の通りです。

		震度2 以下	震度 3~4	震度 5弱 以上	試験報	訓練報	システム エラー	ファーム ウェア アップデート 通知	起動時 スピーカ テスト
音量	大	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	中	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	小	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	消音	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
LED		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
アラーム接点		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

・音量／大、中、小、消音

【解説】各イベント毎にスピーカから発出される音声音量を設定します。設定内容に対する音量の目安は以下のとおりです。

設定は該当するイベントのラジオボタンのいずれかを選択します。

- ・大：約80dB/m
- ・中：約74dB/m
- ・小：約67dB/m
- ・消音：無音

・LED

【解説】各イベント毎にLEDを点灯させる（チェックあり）、点灯させない（チェックなし）を設定します。

設定は該当するイベントのチェックボックスをチェックします。

・アラーム接点

【解説】各イベント毎に外部出力接点を閉じる（チェックあり）、閉じない（チェックなし）を設定します。

設定は該当するイベントのチェックボックスをチェックします。

・音量確認

【解説】[実行] ボタンを押すと、「音量」にて各イベント毎に設定した内容でスピーカ音量を確認することができます。

メニューフレームの「通知設定」の左側のプラス記号をクリックし、表示される「表示パターン設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

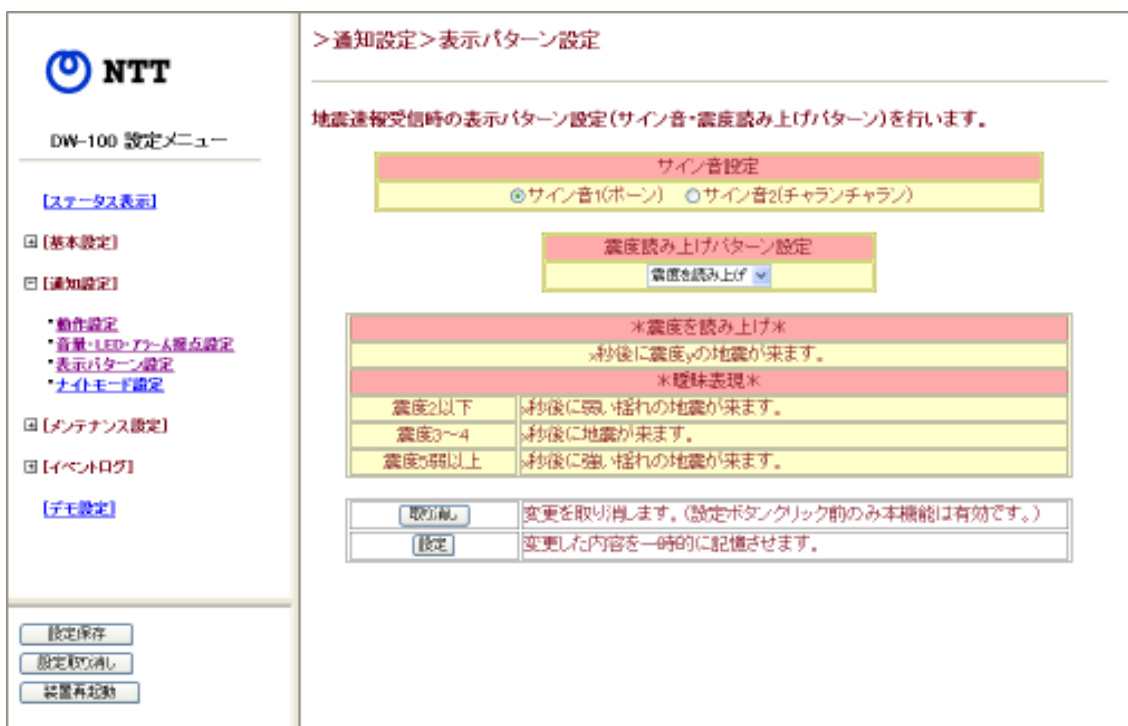


図 32 通知設定 表示パターン設定画面

【解説】地震速報を受信したときの本装置の通知パターンを設定します。

・サイン音設定

【解説】地震速報の受信したときに鳴らす音を設定します。

設定は「サイン音 1 (ポーン)」、「サイン音 2 (チャランチャラン)」のいずれかを選択します。

【出荷設定】サイン音 1 (ポーン)

・震度読み上げパターン設定

【解説】地震速報の受信したときに予想震度を直接通知するか、揺れの度合いを通知するかを設定します。揺れの度合い（曖昧表現）については、以下のようになります。

- ・ 予想震度 2 以下：～弱い揺れの地震が来ます。
- ・ 予想震度 3～4：～地震が来ます。
- ・ 予想震度 5 弱以上：～強い揺れの地震が来ます。

設定はプルダウンメニューから「震度を読み上げ」、「曖昧表現」のいずれかを選択します。

【出荷設定】震度を読み上げ

メニューフレームの「通知設定」の左側のプラス記号をクリックし、表示される「ナイトモード設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

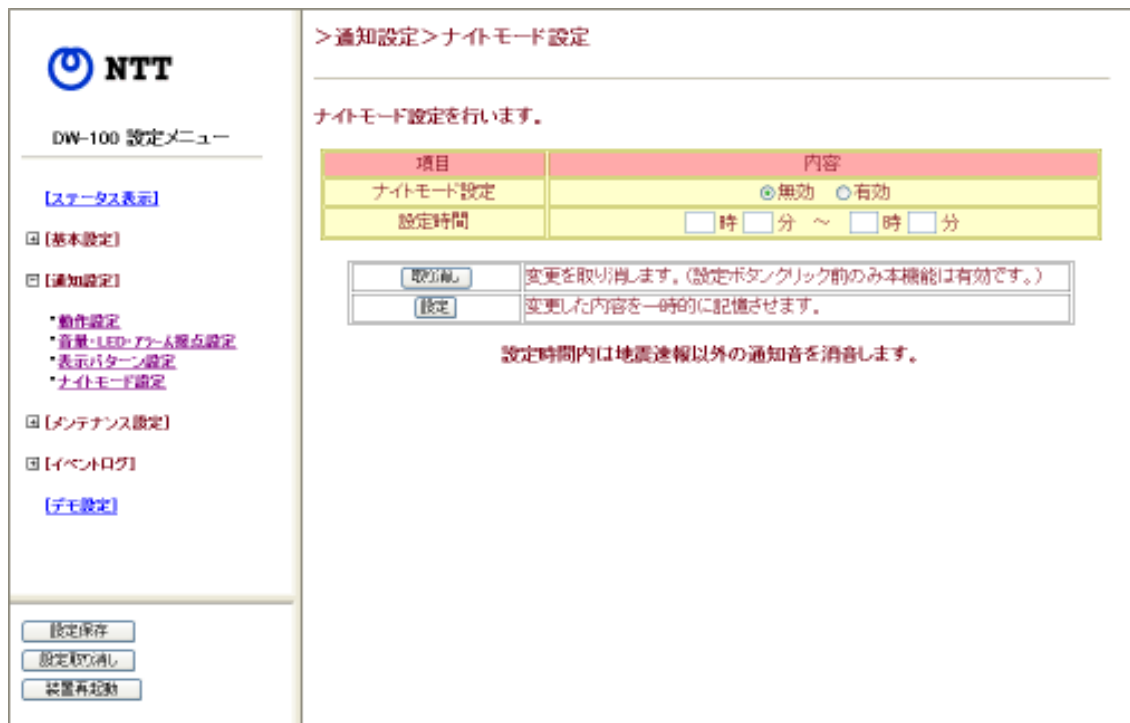


図 33 通知設定 ナイトモード設定画面

【解説】地震速報以外の通知音を消すことができます。開始時間と終了時間が同じ場合は、常にナイトモードが設定されていることとなります。

【注意】ナイトモードを設定している場合でも、装置起動時のスピーカ音は鳴動します。

・ナイトモード設定

【解説】地震速報以外の通知音を消す（有効）か、消さない（無効）かを設定します。設定は「無効」、「有効」のいずれかを選択します。

【出荷設定】無効

・設定時間

【解説】ナイトモードを有効にする時間帯を設定します。なお、時刻は24時間制で設定してください。(例 午後10時～午前6時半→22時0分～6時30分)

【出荷設定】何も設定されていません。

【注意】本設定はナイトモード設定が「有効」に設定されているときのみ有効です。

(5) メンテナンス設定

メニューフレームの「メンテナンス設定」の左側のプラス記号をクリックし、表示される「パスワード設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

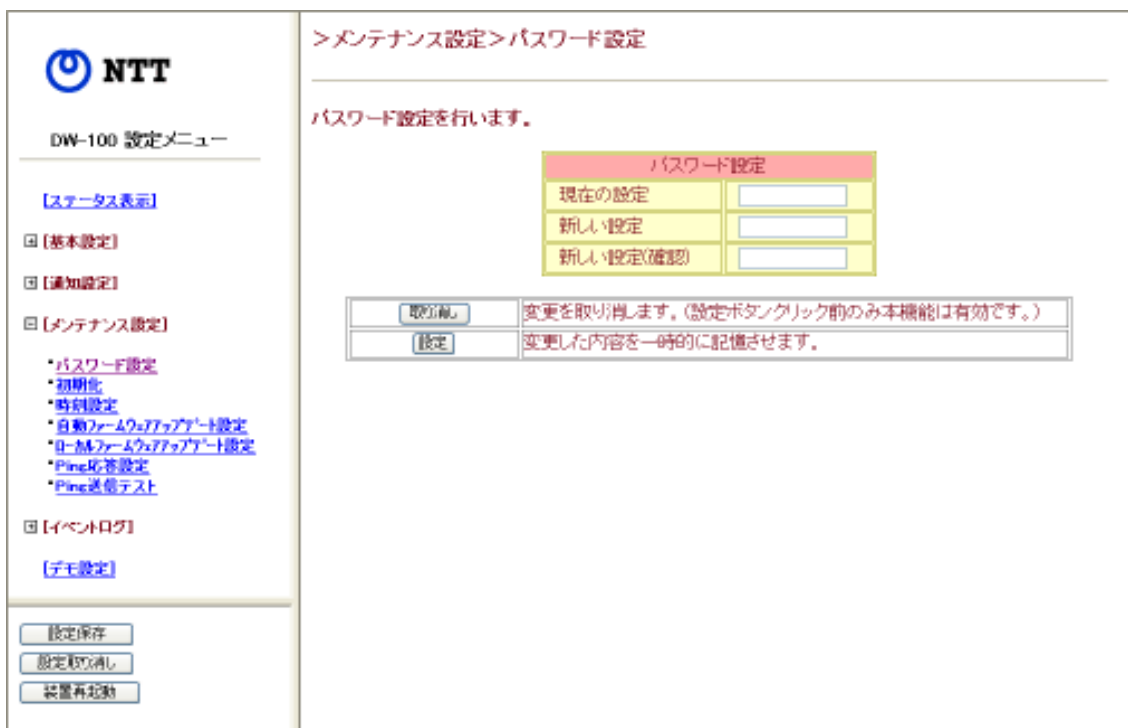


図 34 メンテナンス設定 パスワード設定画面

【解説】ブラウザから本装置にログインするときのパスワードを変更します。本装置にアクセスする際に入力するパスワードは管理上 定期的に変更することをお奨めします。

・パスワード設定

【解説】パスワードの変更を行います。「現在の設定」の右側のテキストボックスにログインしたときのパスワード（出荷設定は user）を入力します。次に、新しく設定するパスワードを「新しい設定」の右側のテキストボックスに入力し、同じ文字列を「新しい設定（確認）」の右側のテキストボックスにも入力します。入力文字の表示は「●」となります。

【入力形式】半角文字を 4～16 文字の間で入力します。入力可能な文字は以下のとおりです。

入	！	～	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	:	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[¥]	^	_
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

【出荷設定】 user

【注意】出荷設定の「user」は新しいパスワードとして設定できません。

メニューフレームの「メンテナンス設定」の左側のプラス記号をクリックし、表示される「初期化」を選択すると、以下の画面が表示されます。

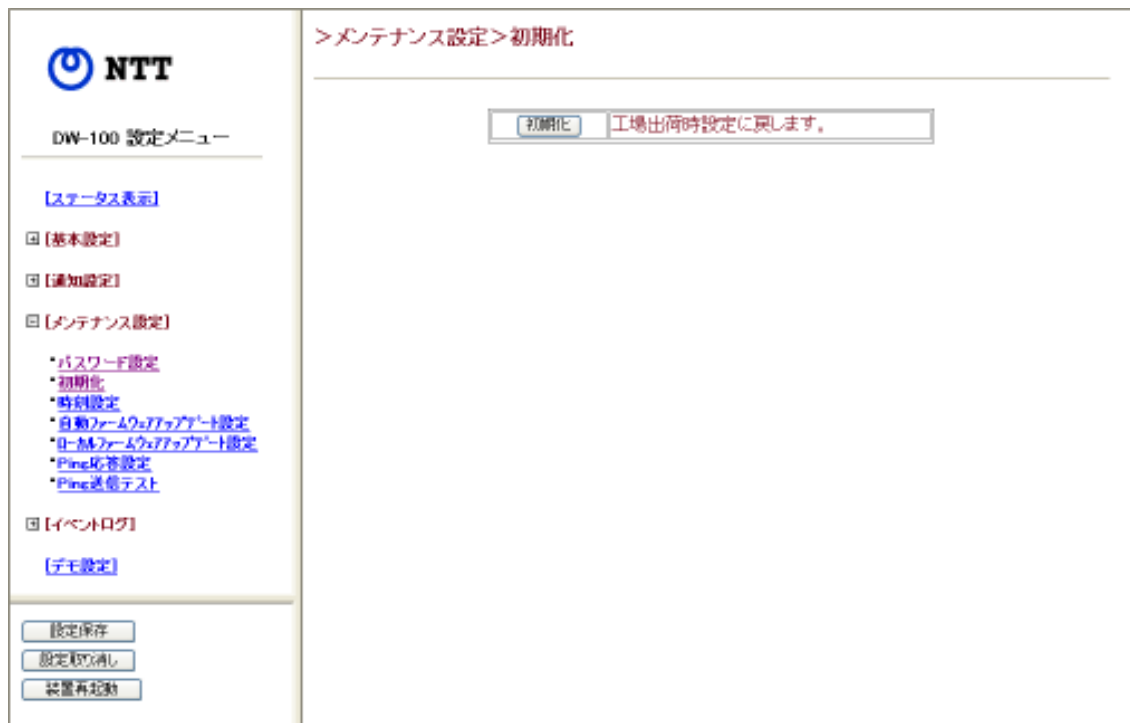


図 35 メンテナンス設定 初期化画面

【解説】本装置の設定内容を工場出荷状態へ戻すときに実行します。初期化を行うと、パスワードやWEB用IPv4アドレスなど本装置の設定を出荷設定に戻します。

【注意】初期化を行うと、設定内容はすべて出荷設定に戻りますので、重要な設定（緯度、経度、地盤増幅率）はメモなどに書きとめてください。初期化後、本装置に初めてアクセスすると、かんたん設定の画面が表示されます。

・初期化ボタン

【解説】このボタンを押すと、本装置の初期化を実行し、装置を自動的に再起動します。

【注意】初期化中は、LED（緑）とLED（赤）が同時に点滅します。この時には電源アダプタを抜かないようにしてください。装置が正常に立ち上がると、LED（緑）は点灯、LED（赤）は消灯します。

メニューフレームの「メンテナンス設定」の左側のプラス記号をクリックし、表示される「時刻設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

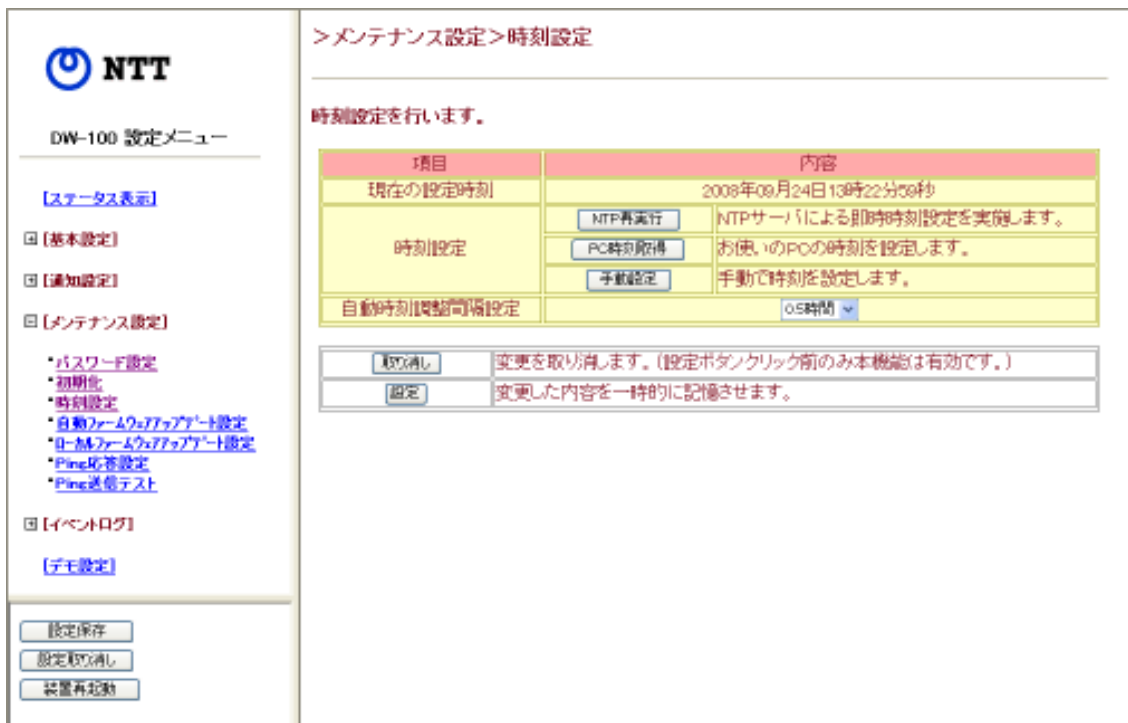


図 36 メンテナンス設定 時刻設定画面

【解説】本装置の時刻やNTPサーバによる自動時刻設定間隔を設定します。

・現在の設定時刻

【解説】本装置に設定されている時刻情報を表示します。

【注意】表示される時刻は、時刻設定画面にアクセスしたときの時刻となります。

・時刻設定

【解説】本装置の時刻を設定します。設定する方法には、「NTP再実行」、「PC時刻取得」、「手動設定」の3種類があります。

・時刻設定/NTP再実行ボタン

【解説】NTPサーバへアクセスして、時刻設定を行います。このボタンを押すと、即時に時刻設定を行います。

【注意】NTPサーバへのアクセスに失敗し、本装置の時刻が大幅にずれている場合は「PC時刻取得」または「手動設定」により、本装置の時刻を設定してください。

・時刻設定/PC時刻取得ボタン

【解説】パソコンの時刻情報から時刻設定を行います。このボタンを押すと、子画面が開き、パソコンの時刻情報が表示されます。子画面の「設定」ボタンを押すと、パソコンの時刻情報を本装置に設定します。

【注意】この設定はNTPサーバへのアクセスが不可能な場合の一時的なものです。NTPサーバによる時刻設定が可能となった場合は、NTPが優先されます。

・時刻設定/手動設定ボタン

【解説】手入力により、時刻設定を行います。このボタンを押すと、子画面が開き、設定する時刻情報を入力します。子画面の「設定」ボタンを押すと、時刻情報を本装置に設定します。

【注意】この設定はNTPサーバへのアクセスが不可能な場合の一時的なものです。NTPサーバによる時刻設定が可能となった場合は、NTPが優先されます。

・自動時刻調整間隔設定

【解説】NTPサーバによる自動時刻設定の調整間隔を設定します。設定はプルダウンメニューからいずれかを設定します。通常は、出荷設定のままでお使いください。

【出荷設定】0.5時間

メニューフレームの「メンテナンス設定」の左側のプラス記号をクリックし、表示される「自動ファームウェアアップデート設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

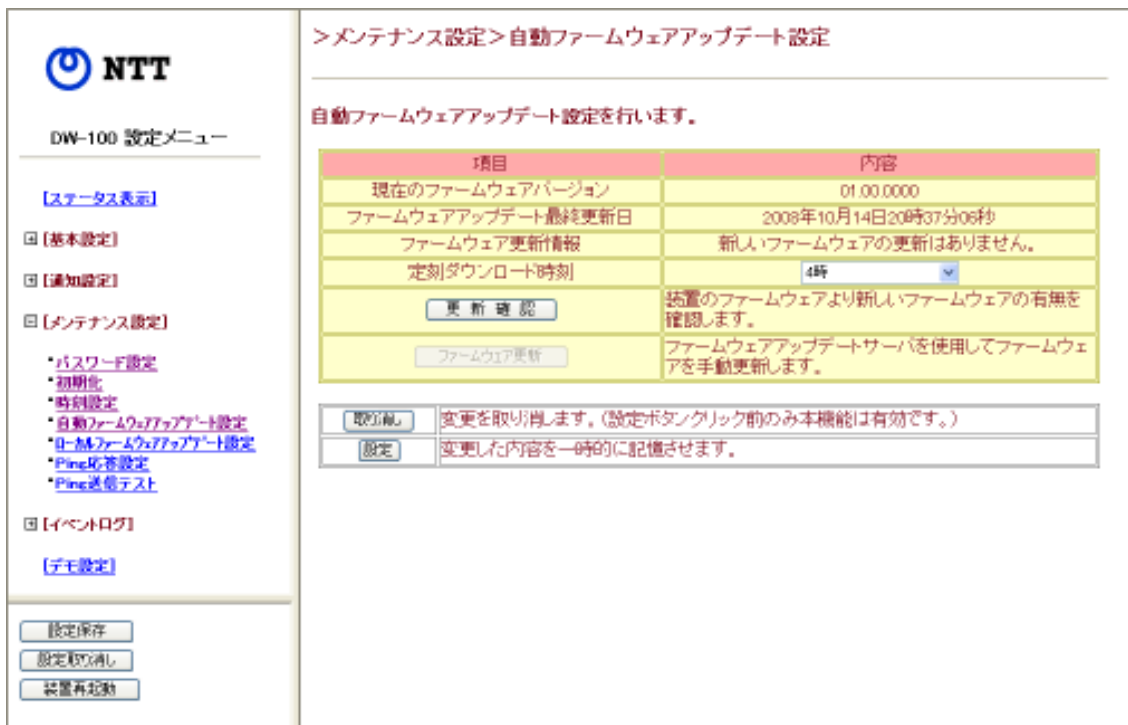


図 37 メンテナンス設定 自動ファームウェアアップデート設定画面

【解説】ファームウェアのバージョンや最終更新日、更新情報を表示します。また、自動更新を行う時刻設定および手動によるファームウェアのアップデートを行います。

【注意】ファームウェアの自動アップデートを行うには、インターネットサービスプロバイダとの契約が必要です。また、ファームウェアアップデート用 IPv4 アドレスが設定されていることが条件となります。IPv4 アドレスが正常に設定されなかったときは、自動ファームウェアアップデート機能が使用できなくなります。

基本設定のネットワーク設定「IPv4 アドレス設定（ファームウェアアップデート用）」（49ページ）の IPv4 アドレス取得方法を「DHCP」に設定したときは、必ずステータス表示画面の「IPv4 アドレス（ファームウェアアップデート用）」（47ページ）で IPv4 アドレス取得結果を確認してください。IPv4 アドレスが正常に設定されなかったときは、基本設定のネットワーク設定「IPv4 アドレス設定（ファームウェアアップデート用）」（49ページ）の IPv4 アドレス取得方法を「固定アドレス」に変更してください。

・現在のファームウェアバージョン

【解説】本装置で使用しているファームウェアのバージョンを表示します。

・ファームウェアアップデート最終更新日

【解説】ファームウェアがアップデートされた最終更新日を表示します。

・**ファームウェア更新情報**

【解説】新しいファームウェアの有無を表示します。

・**定刻ダウンロード時刻**

【解説】新しいファームウェアの更新がある場合のダウンロード時刻を設定します。設定はプルダウンメニューから「自動ダウンロードしない」、「0時」～「23時」（1時間間隔）のいずれかを設定します。

「0時」～「23時」のいずれかに設定した場合、その時刻になると、自動でファームウェアのダウンロード、更新を行います。

「自動ダウンロードしない」に設定した場合、[ファームウェア更新] ボタンを押すことにより、手動でファームウェアのダウンロード、更新を行います。

【出荷設定】4時

・**更新確認ボタン**

【解説】このボタンを押すと、本装置のファームウェアより新しいファームウェアがないか確認します。

【注意】本機能は、ファームウェア更新情報に「新しいファームウェアの更新はありません。」または「更新の確認に失敗しました。」と表示されたときに実行することができます。「新しい更新があります。ファームウェア更新により新しいファームウェアに手動更新します。」と表示されているときには、本ボタンは押せないよう（グレイアウト）になっています。

・**ファームウェア更新ボタン**

【解説】このボタンを押すと、新しいファームウェアをサーバからダウンロードし、本装置のファームウェアをアップデートします。

【注意】本機能は、ファームウェア更新情報に「新しい更新があります。ファームウェア更新により新しいファームウェアに手動更新します。」と表示されたときのみ実行することができます。「新しいファームウェアの更新はありません。」または「更新の確認に失敗しました。」と表示されているときには、本ボタンは押せないよう（グレイアウト）になっています。[更新確認] ボタンを押して、新しいファームウェアがあるか確認してください。

メニューフレームの「メンテナンス設定」の左側のプラス記号をクリックし、表示される「ローカルファームウェアアップデート設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

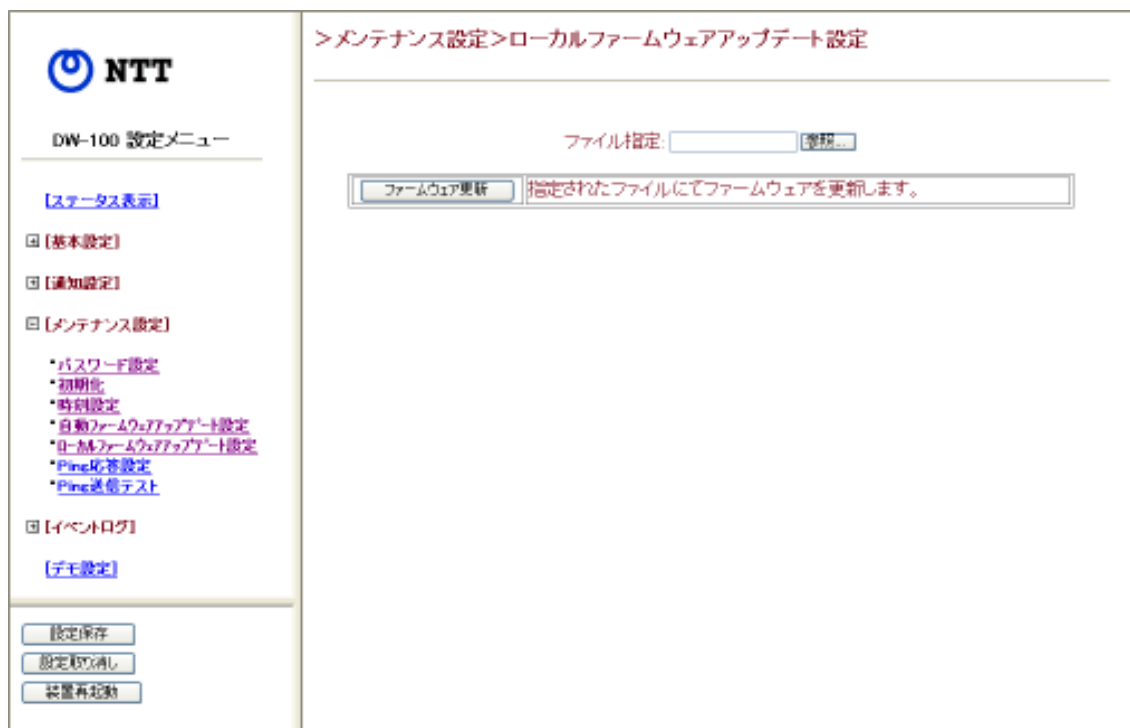


図 38 メンテナンス設定 ローカルファームウェアアップデート設定画面

【解説】ファームウェアサーバを使用せず、パソコンからファームウェアアップデートを行います。

・ファイル指定

【解説】更新するファームウェアのファイル名を入力します。[参照...] ボタンを押して、ファームウェアのファイル名を選択、またはキーボードからファームウェアのファイル名を直接入力し、[ファームウェア更新] ボタンを押すと、アップデートが行われます。

メニューフレームの「メンテナンス設定」の左側のプラス記号をクリックし、表示される「Ping 応答設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

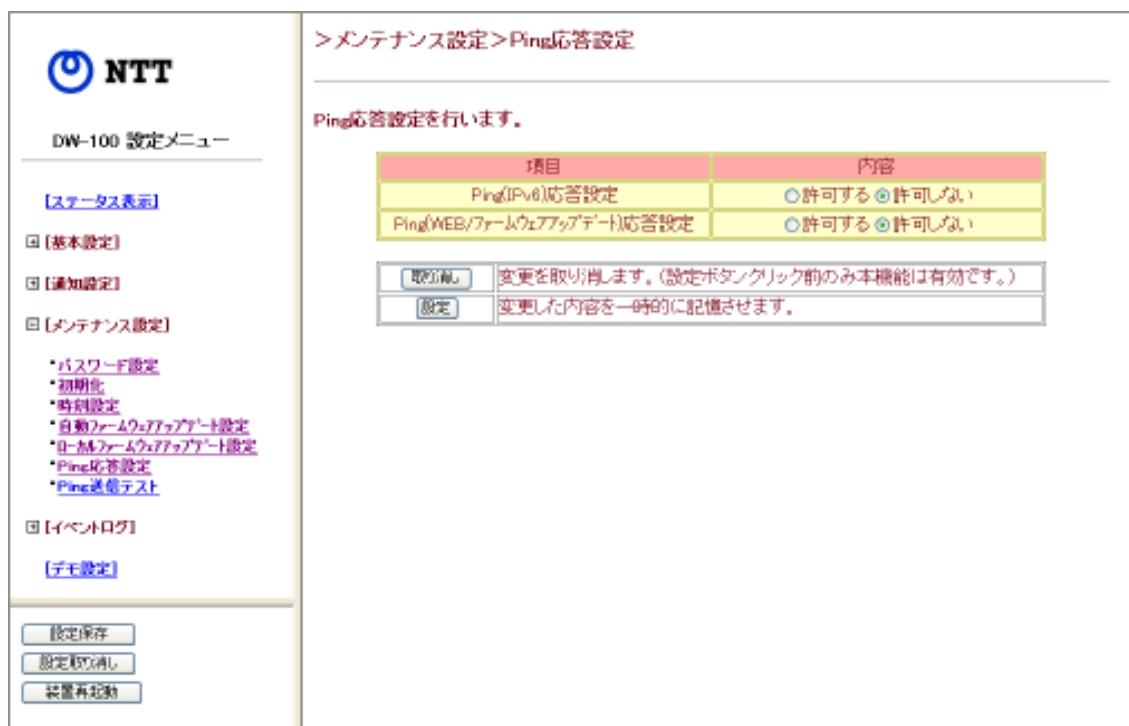


図 39 メンテナンス設定 Ping 応答設定画面

【解説】パソコンなどから本装置に対して Ping 試験を実施したときに応答を返すか、返さないかの設定をします。

・Ping (IPv6) 応答設定

【解説】IPv6 アドレスに対する Ping 試験時に応答を返す（許可する）か、返さない（許可しない）かを設定します。

【出荷設定】許可しない

・Ping (WEB/ファームウェアアップデート) 応答設定

【解説】WEB 用およびファームウェアアップデート用 IPv4 アドレスに対する Ping 試験時に応答を返す（許可する）か、返さない（許可しない）かを設定します。

【出荷設定】許可しない

メニューフレームの「メンテナンス設定」の左側のプラス記号をクリックし、表示される「Ping 送信テスト」を選択すると、以下の画面が表示されます。

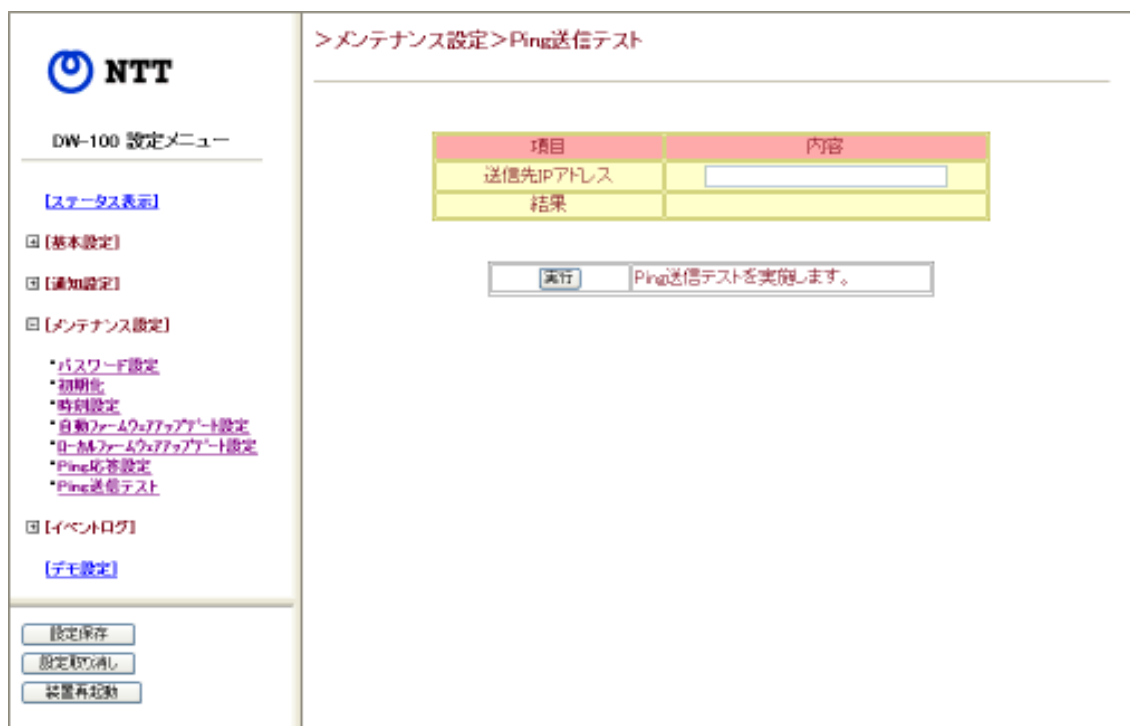


図 40 メンテナンス設定 Ping 送信テスト画面

【解説】本装置と接続する機器がネットワーク上で接続されていることを確認するためなどに使用します。

・送信先IPアドレス

【解説】接続試験を行うネットワーク機器のIPアドレスを入力して、[実行] ボタンを押すと、Ping 試験が実行されます。

・結果

【解説】Ping 試験の結果が表示されます。正しく通信できたときには、「正常」と表示されます。通信できなかったときには、「応答なし」と表示されます。

(6) イベントログ

メニューフレームの「イベントログ」の左側のプラス記号をクリックし、表示される「地震速報ログ」を選択すると、以下の画面が表示されます。

> イベントログ > 地震速報ログ

NTT
DW-100 設定メニュー

[ステータス表示]

☐ [基本設定]

☐ [通知設定]

☐ [メンテナンス設定]

☐ [イベントログ]

* 地震速報ログ
* システムログ
* データ配線データ受信ログ

[デモ設定]

設定保存
設定取り消し
装置再起動

• 地震速報表示(発報)

受信日時	発生日時	震源地	マグニチュード	詳細
2008/09/24 15:17:17	2008/09/24 15:17:00	震央地名コード:471 緯度36.3 経度141.5	6.4	[詳細]
2008/09/24 14:53:13	2008/09/24 14:53:07	震央地名コード:301 緯度36.1 経度139.8	5.0	[詳細]
2008/09/24 14:21:38	2008/09/24 14:21:21	震央地名コード:471 緯度36.3 経度141.5	6.4	[詳細]
2008/09/24 13:17:54	2008/09/24 13:17:37	震央地名コード:471 緯度36.3 経度141.5	6.4	[詳細]
2008/09/24 12:53:50	2008/09/24 12:53:44	震央地名コード:301 緯度36.1 経度139.8	5.0	[詳細]

• 地震速報受信

受信日時	発生日時	震源地	マグニチュード	詳細
2008/09/24 15:19:24	2008/09/24 15:18:18	震央地名コード:853 緯度25.0 経度125.0	5.7	[詳細]
2008/09/24 15:19:15	2008/09/24 15:18:18	震央地名コード:853 緯度25.0 経度125.0	5.7	[詳細]
2008/09/24 15:18:55	2008/09/24 15:18:18	震央地名コード:853 緯度25.0 経度125.0	6.2	[詳細]
2008/09/24 15:18:55	2008/09/24 15:18:18	震央地名コード:853 緯度25.3 経度125.0	5.3	[詳細]
2008/09/24 15:18:48	2008/09/24 15:18:18	震央地名コード:853 緯度25.3 経度125.0	5.5	[詳細]
2008/09/24 15:18:37	2008/09/24 15:18:18	震央地名コード:853 緯度25.3 経度125.0	5.5	[詳細]
2008/09/24 15:18:35	2008/09/24 15:18:18	震央地名コード:853 緯度25.3 経度125.0	6.4	[詳細]
2008/09/24 15:18:33	2008/09/24 15:18:18	震央地名コード:853 緯度25.3 経度125.0	6.8	[詳細]
2008/09/24 15:18:32	2008/09/24 15:18:18	震央地名コード:853 緯度25.3 経度125.0	6.4	[詳細]
2008/09/24 15:18:29	2008/09/24 15:18:18	震央地名コード:853 緯度25.3 経度125.0	6.9	[詳細]

• 訓練報

2008/09/24 19:58:05 訓練報 [[981]/[111]]
2008/09/24 19:58:55 訓練報 [[971]/[111]]

• 試験報

2008/09/24 14:00:40 試験報 [[981]/[120]]
2008/09/24 14:00:35 試験報 [[981]/[120]]
2008/09/24 12:01:17 試験報 [[981]/[120]]
2008/09/24 12:01:12 試験報 [[981]/[120]]

保存 装置の地震速報ログをPC上に保存します。
再読み込み 地震速報ログの再読み込みを実行します。
消去 地震速報ログを消去します。

図 41 イベントログ 地震速報ログ画面

【解説】地震速報表示(発報)や地震速報受信のログ(受信日時、発生日時、震源地およびマグニチュード)および訓練報、試験報のログを表示します。また、パソコンに保存することもできます。

・地震速報表示（発報）

【解説】地震速報表示（発報）のログを表示します。ログは最大5件表示することができます。[詳細] ボタンを押すと、該当ログの詳細な内容を確認することができます。

・地震速報受信

【解説】地震速報受信のログを表示します。ログは最大10件表示することができます。[詳細] ボタンを押すと、該当ログの詳細な内容を確認することができます。

・訓練報

【解説】訓練報のログを表示します。ログは最大5件表示することができます。

・試験報

【解説】試験報のログを表示します。ログは最大5件表示することができます。

・保存ボタン

【解説】このボタンを押すと、表示した地震速報ログをパソコンに保存します。

・再読み込みボタン

【解説】このボタンを押すと、本装置に保存されている最新の地震速報ログを表示します。

・消去ボタン

【解説】このボタンを押すと、表示されている地震速報ログを消去します。

【注意】消去した地震速報ログを再度表示することはできません。

メニューフレームの「イベントログ」の左側のプラス記号をクリックし、表示される「システムログ」を選択すると、以下の画面が表示されます。



図 42 イベントログ システムログ画面

【解説】本装置の操作および動作などの履歴を確認することができます。システムログは最大 100 件表示することができます。また、パソコンに保存することもできます。表示されるログの種別は以下のとおりです。

- ・起動状態 : 装置起動、電源断、装置再起動
- ・セルフテスト結果 : セルフテスト結果
- ・LAN リンク状態 : LAN リンクアップ、リンクダウン
- ・IPv4 アドレス情報 : IPv4 アドレス取得成功、異常 (ファームウェアアップデート用)
- ・IPv6 アドレス情報 : IPv6 アドレス生成成功、異常
- ・端末認証結果 : 受信端末認証結果
- ・マルチキャストグループ参加 : マルチキャストグループ参加
- ・時刻情報 : NTP 時刻合わせ結果、ローカル時刻合わせ実施
- ・位置情報 : 位置情報要求結果
- ・ファームウェア更新情報 : ファームウェア更新チェック/ダウンロード結果
- ・ログイン情報 : ログイン、ログアウト
- ・パラメータ操作情報 : パラメータ異常/設定/保存

【注意】システムログの件数が 100 件を超えると、古いログから消去されます。尚、一部のパソコンではブラウザを閉じたとき、システムログにログアウトは表示されません。その後、他のパソコンから本装置にアクセスしたとき、「現在ログイン中です。」と表示される場合があります。そのときは、一定時間経ってからアクセスしてください。

・保存ボタン

【解説】このボタンを押すと、表示したシステムログをパソコンに保存します。

・再読み込みボタン

【解説】このボタンを押すと、本装置に保存されている最新のシステムログを表示します。

・消去ボタン

【解説】このボタンを押すと、表示されているシステムログを消去します。

【注意】消去したシステムログを再度表示することはできません。

メニューフレームの「イベントログ」の左側のプラス記号をクリックし、表示される「ダミー配信データ受信ログ」を選択すると、以下の画面が表示されます。

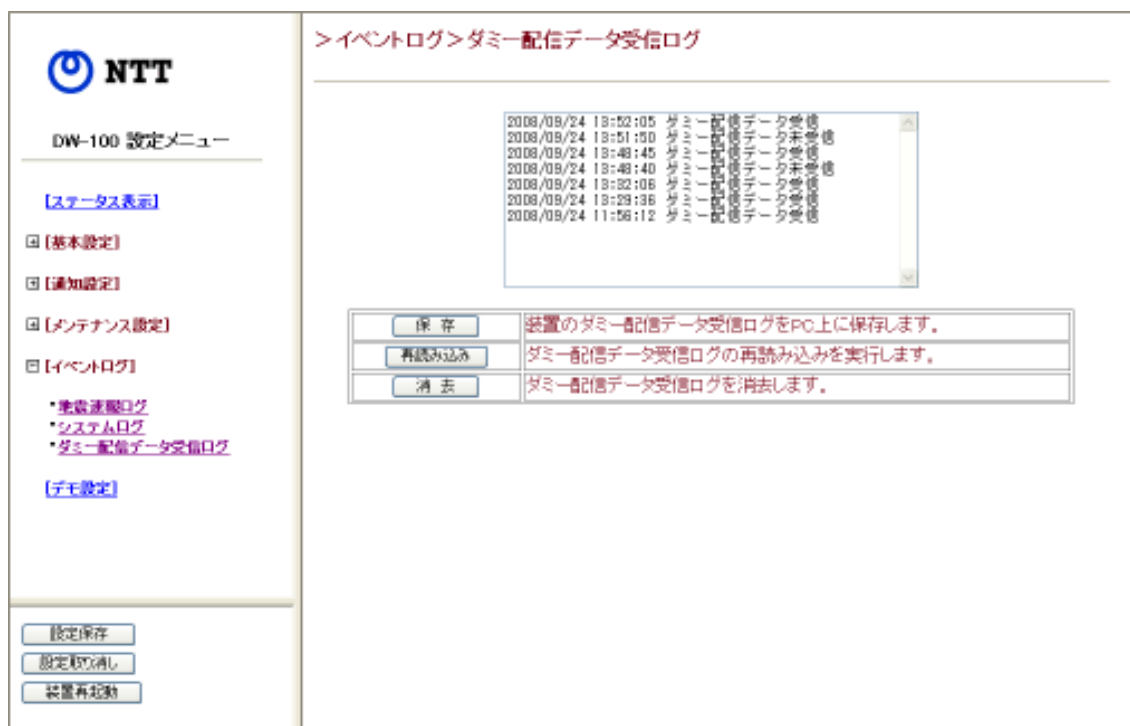


図 43 イベントログ ダミー配信データ受信ログ画面

【解説】配信されるダミーデータの受信状態（受信、未受信）を表示します。ダミー配信データ受信ログは最大 10 件表示することができます。また、パソコンに保存することもできます。

【注意】同じ状態が続く場合は、最後に受信または未受信状態になった年月日のみを表示し、状態が変わるまでは表示に変化はありません。

・保存ボタン

【解説】このボタンを押すと、表示したダミー配信データ受信ログをパソコンに保存します。

・再読み込みボタン

【解説】このボタンを押すと、本装置に保存されている最新のダミー配信データ受信ログを表示します。

・消去ボタン

【解説】このボタンを押すと、表示されているダミー配信データ受信ログを消去します。

【注意】消去したダミー配信データ受信ログを再度表示することはできません。

(7) デモ設定

メニューフレームの「デモ設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

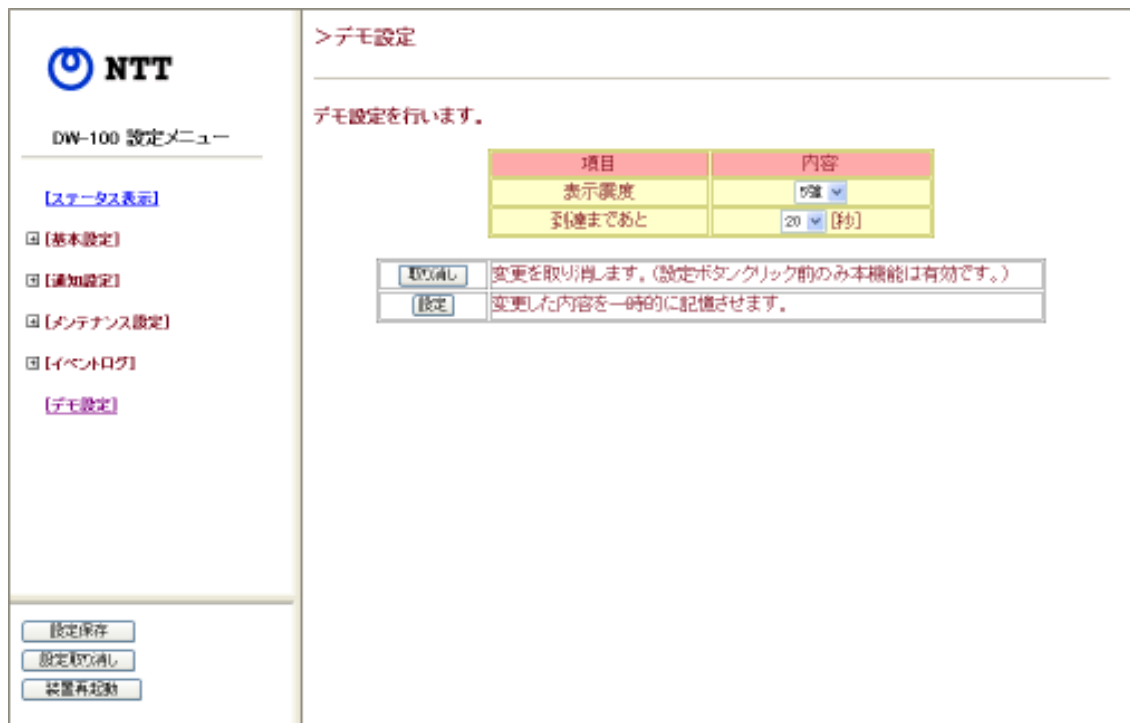


図 44 デモ設定画面

【解説】地震速報を受信していない状態でも動作を確認するためのデモ試験を行うことができます。ここではデモ試験の内容を設定します。

・表示震度

【解説】デモ試験での地震震度を設定します。
設定はプルダウンメニューからいずれかを選択します。

【出荷設定】5 強

・到着まであと

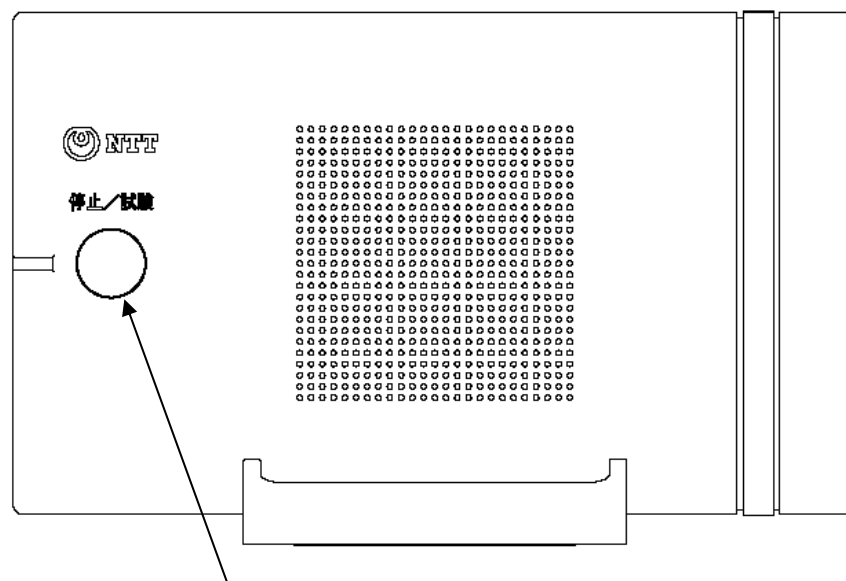
【解説】デモ試験での地震到達までの時間を設定します。
設定はプルダウンメニューから 0～99 秒（1 秒単位）いずれかを選択します。

【出荷設定】20

●デモ試験方法

デモ設定の内容（表示震度と到達までの時間）を設定し、メニューフレームの「設定保存」ボタンを押して、本装置に設定内容を保存します。

次に、本装置前面の「停止／試験」スイッチを3～10秒間押し（3秒経過すると、“プププッ”と音が鳴ります）、スイッチから指を離すと設定した内容でデモ試験が始まります。



3～10秒間 「停止／試験」スイッチを押し、指を離すとデモ試験が開始します。

図 45 デモ試験実行

【注 意】デモ試験中に地震速報を受信した場合、デモ試験は中止され、地震速報に基づく予報動作を行います。また、通知設定の「ナイトモード設定」が動作している時間でもスピーカは鳴動します。

デモ試験は、かんたん設定が完了していないと実行できません。

第3章 お買い求めの状態に戻すには

本装置が正常に動作しないとき、ログイン時のパスワードを忘れたときやIPアドレスを間違って設定し、本装置にアクセスできなくなったときには初期化を行ってください。初期化することにより本装置の全設定を工場出荷状態に戻します。

初期化するためには、本装置の裏面にあるリセットスイッチを1秒以上押します。また、ブラウザにより詳細設定の「メンテナンス設定」→「初期化」からも行うことができます。初期化を実行すると、本装置は自動的に再起動します。本装置の各設定をはじめから行ってください。

【注 意】スイッチを押すときは、クリップなどの先の細いものを使用してください。その際、手や指などを怪我しないようにご注意ください。初期化中は本体のLED（緑）とLED（赤）が同時に点滅します。初期化中は本装置の電源アダプタは絶対に抜かないでください。

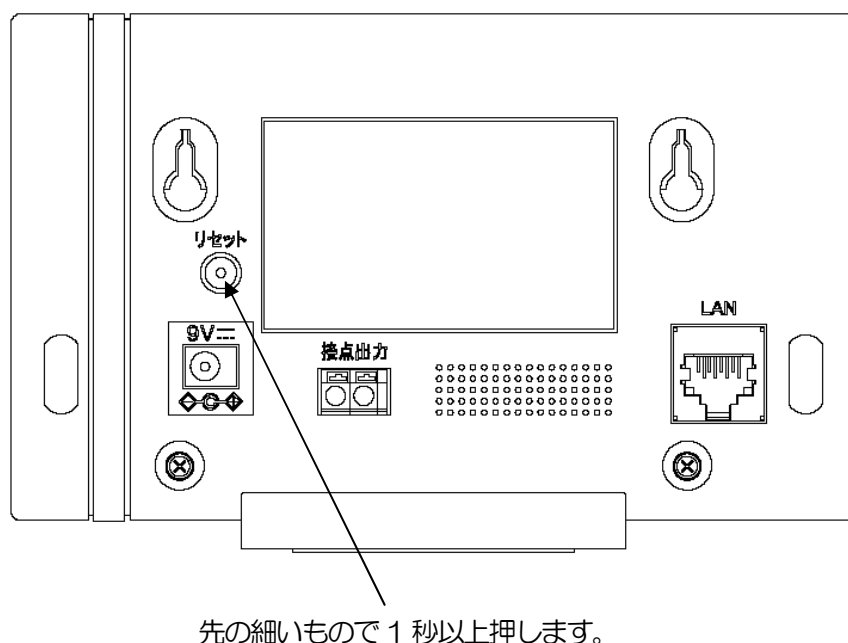


図 46 初期化実行

第4章 おやっ?と思ったら

トラブルが起きたときや疑問点があるときなど、おやっ?と思ったら、まずここを読んでください。該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本装置を初期化し、はじめから設定してください。それでも、問題が解決しない場合は、当社サービス取扱所へご連絡ください。

項目	現象	ヒント
接続	添付の電源アダプタを本装置とACコンセントに挿しても、LED（緑）が消灯している。	ACコンセントに電源がきていない可能性があります。ACコンセントにほかの電気製品を接続し、電気がきているか確認してください。配電盤がある場合は配電盤も確認してください。 また、電源アダプタがACコンセントに正しく接続されているか、電源アダプタのプラグが正しく本体の電源コネクタに接続されているか確認してください。
	パソコンから本装置にアクセスできない。	お客様のネットワーク環境にあった設定がされていません。「2.3 ネットワーク設定」(30ページ)を参考にし、パソコンや本装置の設定内容を確認してください。
かんたん設定	設定内容（契約エリア、契約サービス、設置場所）を間違えてしまった。	かんたん設定が完了する前であれば、[戻る]ボタンや[設定開始画面に戻る]ボタンを押してもう一度設定してください。 かんたん設定が完了している場合には、基本設定の「動作モード設定」(48ページ)および「設置場所設定」(51ページ)にて、正しい設定をしてください。
	設置場所設定の郵便番号入力で住所を検索したとき、エラーが発生した。	本装置と認証サーバとの間で正しく認証されていないか、かんたん設定での設定に誤りがある可能性があります。停止/試験スイッチを10秒以上押し、指を離してアラームコード読み上げを行ってください。76ページのアラームコード一覧表を参照して、アラーム内容を確認してください。
地震速報待ち受け状態	装置が地震速報を受信できる状態なのか、確認したい。	「ステータス表示」(47ページ)の状態表示に異常が表示されていない、またはアラームコード読み上げを行い、何も読み出されないときは地震速報を受信可能な状態です。
	アラームコードの読み出しをしたい。	停止/試験スイッチを10秒以上押し、指を離すとアラームコード読み上げを行うことができます。アラームコードが読み上げられたときには、76ページのアラームコード一覧表を参照して、アラーム内容を確認してください。

項目	現象	ヒント
スピーカ	スピーカからブザー音が鳴っている。	本装置にシステムエラーが発生しています。停止/試験スイッチを 10 秒以上押し、指を離してアラームコード読み上げを行ってください。76ページのアラームコード一覧表を参照して、アラーム内容を確認してください。
	スピーカから音が鳴らない。	出荷設定では震度 2 以下の地震が発生した場合は音による予報動作は行いません。 通知設定の「音量・LED・アラーム接点設定」(53ページ)で消音に設定しているか、または「ナイトモード設定」(56ページ)を有効にしているか? 設定を確認してください。 また、スピーカが故障している可能性があります。「デモ試験」(72ページ)を行ない、音が出るか確認してください。
	ブザー音を消したい。	停止/試験スイッチを 1 秒以上押ししてください。 (3 秒以上押しと、デモ試験が始まりますので、ブザー音が止まったら指を離してください。)
	スピーカから音量を変えたい。	通知設定の「音量・LED・アラーム接点設定」(53ページ)でイベント毎の音量を設定してください。
LED	LED (緑) が点滅している。	装置起動直後の場合は、本装置が起動している途中です。本装置が立ち上がると、LED (緑) は点灯に変わります。しばらくお待ちください。 本装置起動後の場合は、新しいファームウェアがあることを示します。通常は自動的にアップデートしますので、そのまま 1 日程度待ってください。1 日経っても点滅したまま、または手動でファームウェアのアップデートを行う場合は、61ページまたは63ページを参照してください。
	LED (赤) が点灯している。	電源投入後の自己診断試験中および本装置動作中に LED (赤) が点灯したままになっている場合、異常を検出しています。停止/試験スイッチを 10 秒以上押し、指を離してアラームコード読み上げを行ってください。76ページのアラームコード一覧表を参照して、アラーム内容を確認してください。
	LED (赤) が速い点滅をしている。	地震速報を受信しました。机の下に隠れるなどすぐに身を守ってください。 また、試験報・訓練報を受信したときおよびデモ試験中にも LED (赤) は速い点滅をします。
	LED (赤) が遅い点滅をしている。	かんたん設定による契約エリア、契約サービスおよび設置場所の設定が行われていません。「2.4.1 かんたん設定」(33ページ)からのかんたん設定を行ってください。
	LED (緑) と LED (赤) が同時に点滅している。	本装置を初期化 (工場出荷設定に戻す) しています。装置が立ち上がるまでしばらくお待ちください。
詳細設定	予報動作する震度を変えたい。	通知設定の「動作設定」(52ページ)で変更することができます。
	夜間、地震速報以外はスピーカから通知音が鳴らないようにしたい。	通知設定の「ナイトモード設定」(56ページ)で地震速報以外の通知音を消すことができます。
	過去の地震速報の履歴が見たい。	イベントログの「地震速報ログ」(66ページ)で地震速報、訓練報、試験報の履歴を見ることができます。

アラームコード一覧表

アラームコード番号	システムエラー内容	内容および対処方法
1	動作モード未設定	本装置を使用するための契約エリアや契約サービスが設定されていません。「かんたん設定」(34ページ)により、設定してください。
2	LAN リンクダウン	本装置とルータ、HGW や回線終端装置等とのリンクが確立していません。LAN ケーブルが正しく接続されていないか、破損している可能性があります。以下の対応をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・LAN ケーブルはしっかり接続されているか、確認してください。 ・接続している LAN ケーブルがショート、断線などしていないか、確認してください。 ・接続している LAN ケーブルは規格 (カテゴリ 5 以上) を満足しているか、確認してください。 ・接続している装置の LINK ランプは正しく点灯しているか確認してください。 ・接続しているポート (LAN 用ポート) は正しいか、確認してください。 ・接続している装置の電源は投入されているか、正常に動作しているか、確認してください。
3	位置情報未設定	本装置を使用するための設置場所情報や地盤増幅率が設定されていません。「かんたん設定」(36ページ)により、設定してください。
11	IPv6 アドレス異常	本装置を使用するための IPv6 アドレスが正しく設定されていません。お使いのインターネット環境やシステムに問題が発生している可能性があります。以下の対応をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・各ケーブルの接続は正しいか、「1.7 本装置を接続する」(25ページ)により確認してください。 ・ルータや HGW、回線終端装置等の IPv6 関連の設定は正しいか、正常に動作しているか、確認してください。 ・アクセス回線やネットワークサービス等の契約は完了しているか、確認してください。
12	NTP 時刻合わせ失敗	NTP サーバによる自動時刻設定に失敗しました。メンテナンス設定 時刻設定の「NTP 再実行」(59ページ)により、時刻を設定してください。
13	受信端末認証異常 (通信異常)	本装置の起動中に認証サーバとの間で通信異常が発生しました。お使いのインターネット環境やシステムに問題が発生しているか、契約エリアや契約サービスが正しく設定されていない可能性があります。以下の対応をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・各ケーブルの接続は正しいか、「1.7 本装置を接続する」(25ページ)により確認してください。 ・ルータや HGW、回線終端装置等の IPv6 関連の設定は正しいか、正常に動作しているか、確認してください。? ・契約エリアや契約サービスの設定は正しいか、基本設定の「動作モード設定」(48ページ)により、確認してください。

アラーム コード番号	システムエラー内容	内容および対処方法
14	ダミー配信データ受信失敗	ダミー配信データの受信に失敗しました。お使いのインターネット環境やシステムに問題が発生している可能性があります。以下の対応をしてください。 ・各ケーブルの接続は正しいか、「1.7 本装置を接続する」(25ページ)により、確認してください。 ・ルータや HGW、回線終端装置等の IPv6 関連の設定は正しいか、正常に動作しているか、確認してください。
21	受信端末認証異常 (認証異常)	本装置の起動中に認証サーバとの間で認証異常が発生しました。契約エリアや契約サービスが正しく設定されていないか、契約が完了していない可能性があります。以下の対応をしてください。 ・契約エリアや契約サービスの設定は正しいか、基本設定の「動作モード設定」(48ページ)により、確認してください。 ・アクセス回線やネットワークサービス等の契約は完了しているか、確認してください。
31	パラメータ異常	本装置の起動中にパラメータ異常が発生しました。装置内に保存されている設定が壊れた可能性があります。メニューフレームの[設定保存ボタン]を押して、設定内容を保存してください。その後、メニューフレームの[装置再起動]ボタンを押して、本装置を再起動してください。
32	セルフテストエラー	本装置の起動中に自己診断試験異常が発生しました。装置内のデバイスやメモリが故障した可能性があります。電源アダプタのプラグを AC コンセントから抜き、15 秒程度間隔をおいてから再度 AC コンセントに接続してください。

注：上記の対処を行った場合、その後しばらく様子を見てください。それでも、同じ問題が発生する場合、当社サービス取扱所へご連絡ください。

第5章 ユーザ設定記入シート

お問い合わせ時に本装置の設定をお聞きすることがありますので、出荷設定から変更したときなどには本シートに設定内容を記載してください。また、パソコンの設定を控えるときにもご利用ください。

契約エリア	<input type="checkbox"/> NTT 西日本エリア <input type="checkbox"/> NTT 東日本エリア								
契約サービス	<input type="checkbox"/> フレッツ 光ネクスト <input type="checkbox"/> フレッツ 光ネクスト以外								
設置場所	郵便番号 — 緯度 . 、 経度 . 地盤増幅率 .								
IPv4 アドレス設定 (WEB 用)	IPv4 アドレス . . . サブネットマスク . . . デフォルトゲートウェイ . . .								
IPv4 アドレス設定 (ファームウェアアップデート用)	IPv4 アドレス取得方法 <input type="checkbox"/> 固定アドレス <input type="checkbox"/> DHCP IPv4 アドレス . . . サブネットマスク . . . デフォルトゲートウェイ . . . プライマリ DNS サーバ . . . セカンダリ DNS サーバ . . .								
動作設定	震度 以上 <input type="checkbox"/> 予想震度に関わらず最初の地震速報を優先して表示 <input type="checkbox"/> 後から来た地震が現在表示中のものより予想震度が大きい場合のみ表示								
音量・LED・アラーム接点設定		震度2 以下	震度 3-4	震度 5弱 以上	試験報	訓練報	アラ ーム	ファーム ウェア 更新 通知	起震時 遅延
	大								
	中								
	小								
	消音								
	LED								
サイン音設定	<input type="checkbox"/> サイン音 1 (ポーン) <input type="checkbox"/> サイン音 2 (チャランチャラン)								
震度読み上げパターン設定	<input type="checkbox"/> 震度を読み上げ <input type="checkbox"/> 曖昧表現								
ナイトモード設定	ナイトモード設定 <input type="checkbox"/> 無効 <input type="checkbox"/> 有効 設定時間 時 分～ 時 分								
自動時刻調整間隔設定	時間								
定刻ダウンロード時刻	時								
Ping 応答設定	Ping (IPv6) 応答設定 <input type="checkbox"/> 許可する <input type="checkbox"/> 許可しない Ping (WEB/ファームウェアアップデート) 応答設定 <input type="checkbox"/> 許可する <input type="checkbox"/> 許可しない								
デモ設定	表示震度 到達まであと 秒								

パソコンのネットワーク設定

<input type="checkbox"/> IP アドレスを自動的に取得する		
<input type="checkbox"/> 次の IP アドレスを使う	IP アドレス (IP Address)	. . .
	サブネットマスク (Subnet Mask)	. . .
	デフォルトゲートウェイ (Default Gateway)	. . .
<input type="checkbox"/> DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する		
<input type="checkbox"/> 次の DNS サーバーのアドレスを使う	優先 DNS サーバー (DNS Servers)	. . .
	代替 DNS サーバー	. . .

第6章 索引

アルファベット順		
IPv4アドレス設定	42	
LANインタフェースピンアサイン	81	
LANコネクタ	20	
LED（赤）	19	
LED（緑）	19	
Ping応答設定	64	
Ping送信テスト	65	
あ行		
アラームコード一覧表	76	
安全にお使いいただくために	2	
お買い求め時の状態に戻すには	73	
おやっ?と思ったら	74	
音量・LED・アラーム接点設定	53	
か行		
壁掛け設置	24	
壁掛け設置用ネジ取付穴	20	
かんたん設定	33	
契約エリアの選択	34	
契約サービスの選択	35	
故障した場合には	82	
ご利用前の注意事項	12	
さ行		
時刻設定	59	
地震速報ログ	66	
システムログ	68	
仕様	80	
詳細設定	44	
初期化	58	
ステータス表示	47	
スピーカ	19	
接続	25	
装置	25	
周辺機器（アクセス回線毎）	27	
設置環境	22	
設置用スタンド	19	
設置場所	22	
設置場所設定	51	
設置場所の入力	36	
地盤増幅率	38	
設置方法	23	
設定取り消しボタン	45	
設定保存ボタン	45	
設定ボタン	46	
接点出力端子	20	
セットを確認してください	18	
本体	18	
添付品	18	
装置再起動ボタン	46	
た行		
対応OS/ブラウザ	29	
卓上設置	23	
ダミー配信データ受信ログ	70	
停止/試験スイッチ	19	
停止/試験スイッチの動作	21	
デモ試験	72	
デモ設定	71	
電源コネクタ	20	
動作設定	52	
動作モード設定	48	
特長	17	
取り消しボタン	46	
な行		
ナイトモード設定	56	
ネットワーク設定	49	
ネットワーク設定	30	
Windowsの場合	30	
Macintoshの場合	32	
は行		
パスワード設定	57	
パターン設定	55	
ファームウェアアップデート設定		
自動	61	
ローカル	63	
保守サービスについて	82	
保証について	82	
や行		
ユーザ設定記入シート	78	
ら行		
リセットスイッチ	20	
ログイン	44	

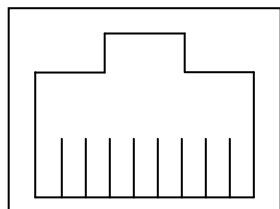
第7章 仕様

項目		仕様
LANポート	インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3/IEEE802.3u)
	全二重/半二重	自動認識
	MDI/MDI-X	自動認識
	コネクタ形状	RJ-45
	ポート数	1
アラーム 接点出力	端子数	1個
	最大許容電流	1A
	最大許容電圧	DC110V
スピーカ	口径	φ45mm
	インピーダンス	8Ω±15%
	音圧レベル	最大80dB/m以上
動作環境	温度条件	0~40℃
	湿度条件	20~85% (結露しないこと)
使用電源定格	AC100±10V 50/60Hz 電源アダプタ	
消費電力	10W以下	
EMI規格	VCCIクラスB	
外形寸法	約150(幅)×35(奥行)×90(高さ)mm (設置スタンド含まず)	
質量	約290g (本体のみ)	

●補修用部品の保有期間について

本装置の補修用性能部品（本装置の性能を維持するために必要な部品）は製造打ち切り後、7年間保有しています。

LAN インタフェースピンアサイン



8 7 6 5 4 3 2 1

MDI

ピン番号	信号名	I/O	備考
1	RX+	I	受信データ+
2	RX-	I	受信データ-
3	TX+	O	送信データ+
4	—	—	—
5	—	—	—
6	TX-	O	送信データ-
7	—	—	—
8	—	—	—

MDI-X

ピン番号	信号名	I/O	備考
1	TX+	O	送信データ+
2	TX-	O	送信データ-
3	RX+	I	受信データ+
4	—	—	—
5	—	—	—
6	RX-	I	受信データ-
7	—	—	—
8	—	—	—

第8章 保守サービスのご案内

●故障した場合は

本装置が故障した場合は以下にお問い合わせください。

NTT 東日本エリアのお客様
フレッツ・サポートセンター



0120-242751

受付時間 24 時間 365 日

※17:00～翌日 9:00 までは、録音にて受付しており順次対応いたします。

※故障修理などの対応時間は 9:00～17:00 となります。

NTT 西日本エリアのお客様

NTT 通信機器お取扱い相談センタ



0120-248995

受付時間 24 時間 365 日

※故障修理などの対応時間：9:00～17:00

●保証について

保証期間中の故障につきましては、『保証書』の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、『保証書』は大切に保管してください。

(詳しくは『保証書』の無料修理規定をご覧ください。)

●保守サービスについて

保証期間後でも、引き続き安心してご利用いただける『定額保守サービス』と故障修理のつど料金をいただく『実費保守サービス』があります。

当社では、安心して本装置をご利用いただける『定額保守サービス』をお勧めしています。保守サービスの種類は以下のとおりです。

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無償で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 (修理費として、お客様宅へおつかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。) ●当社のサービス取扱所まで本装置をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおつかがいするための費用が不要になります。

定額保守サービス料金については、NTT 東日本 光サポートセンタまたは NTT 通信機器お取扱い相談センタへお気軽にご相談ください。電話番号は本説明書の巻末または「NTT 通信機器お取扱い相談センタシール」に記載しています。電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

MEMO

MEMO

MEMO

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種装置の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本装置を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ

東日本電信電話株式会社；<http://web116.jp/ced/>

西日本電信電話株式会社；<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等で不明の点がございましたら、下記までお気軽にご相談ください。電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

■NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

NTT 東日本 光サポートセンタ



0120-970492
(03-5667-7035※)

※携帯電話・PHS・050 IP電話用（通話料金がかかります）

■NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

NTT 通信機器お取扱相談センタ



0120-248995

受付時間 9:00~21:00

※年末年始 12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。
